FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix S304

3.2 MEGA PIXELS

6x OPTICAL ZOOM

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックスS304の
使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。 http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

BL00171-100 (2)

目　次

4 応用編 再生

5 設定編

6 接続編

1
2
3
4
5
6

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカード（xDピクチャーカード）の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

- Macintosh、iMac、MacOSは米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- xDピクチャーカードおよびその他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

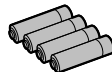
カメラの特長/付属品

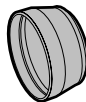
カメラの特長

- 有効画素数約324万画素CCDと高解像度フジノン6倍ズームレンズによる高画質
- 記録画素数最大2048×1536（315万画素）ピクセル
- コンパクト軽量ボディ
- 広範囲な撮影領域（マクロ撮影機能付き）
- シーン自動認識オートホワイトバランス&AE搭載
- 高精度でワイドレンジな調光が可能なオートストロボ内蔵
- 最大3.2倍デジタルズーム撮影機能（動画撮影時は5倍）/最大12.8倍ズーム再生機能
- 撮影の幅を広げるマニュアル撮影、シーンポジション
- 1.8型6.2万画素アモルファスシリコンTFT液晶モニター/0.33型液晶ファインダー
- 最大30秒のボイスメモ機能
- 動画撮影可能（320×240/160×120ピクセル、音声付き）
- 長時間動作を可能にする省エネモード搭載
- USB接続により簡単・高速に画像ファイル転送が可能（付属のインターフェースセット使用）
- テレコンバージョンレンズ、ワイドコンバージョンレンズ装着可能（装着時に内蔵ストロボは使えません）
- デジタルカメラの業界統一規格DCF*準拠

＊DCFは電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称

付属品

- 単3形アルカリ乾電池 LR6（4本）

- xDピクチャーカード 16MB（1枚）
  付属品：静電気防止ケース（1個）

- アダプターリング（1個）
- レンズキャップ（1個）

- ストラップ（1本）
  （ショルダーベルト）

- USBインターフェースセット（1式）
  - CD-ROM：Software for FinePix SX（1枚）
  - 専用USBケーブル（1本）
  - ソフトウェア取扱ガイド（1部）
- 使用説明書（本書1部）
- 安全上のご注意（1部）
- 保証書（1部）

各部の名称

＊（　）内のページに詳しい説明があります。

◀（マクロ）ボタン（P.33）
▲（T 望遠ズーム）ボタン
▶（ストロボ）ボタン（P.29）
▼（W 広角ズーム）ボタン
液晶ファインダー
(EVF)（P.19）
EVF/LCD
（モニター切り換え）
ボタン（P.19）
ストラップ取り付け部
インジケーター
ランプ（P.23）
MENU／OKボタン
BACKボタン
液晶モニター
(LCD)（P.19）
DISPボタン
（P.27、35）
三脚ねじ穴
電池カバー（P.13）

各部の名称（表示例）

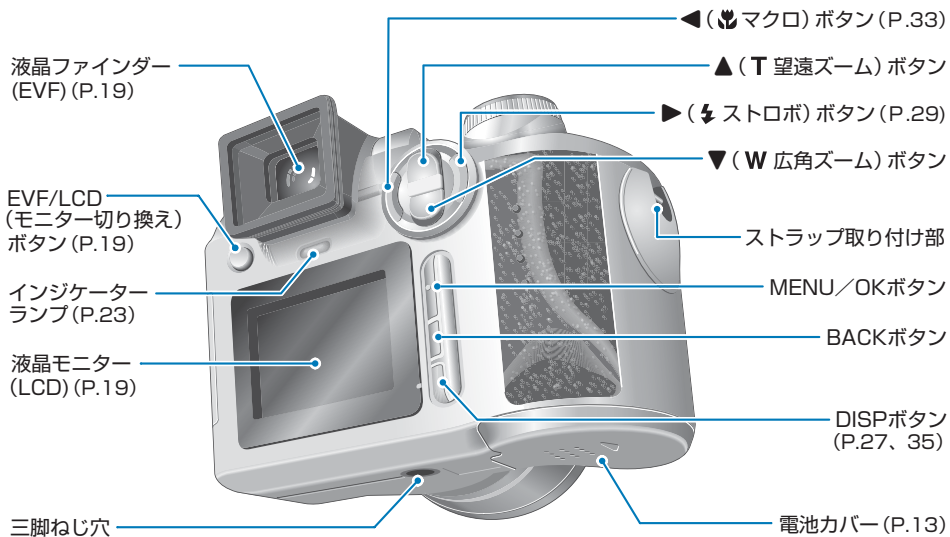
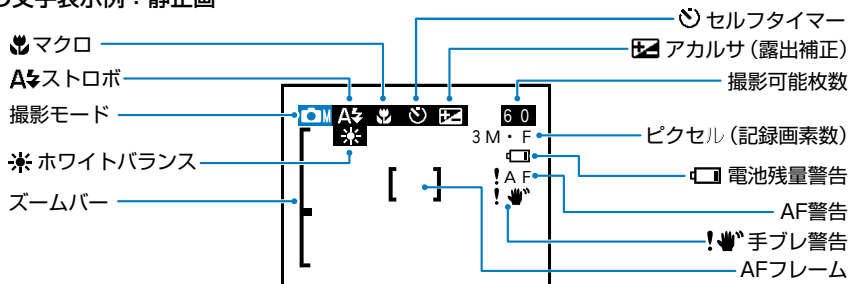
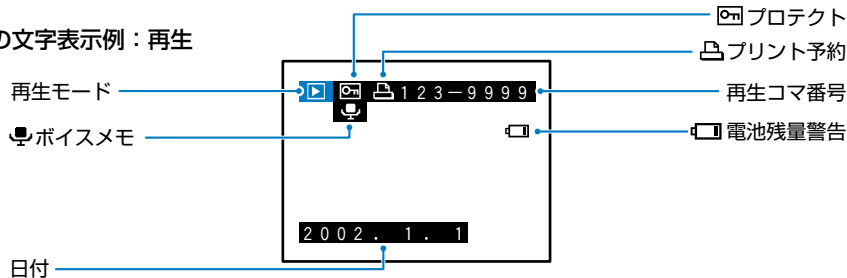
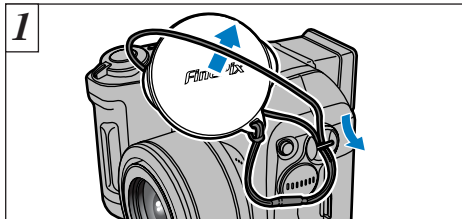
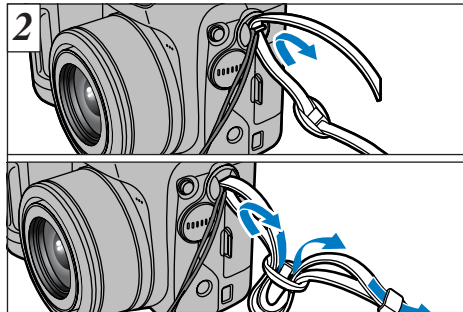
画面の文字表示例：静止画

マクロ
ストロボ
撮影モード
ホワイトバランス
ズームバー
セルフタイマー
アカルサ（露出補正）
撮影可能枚数
ピクセル（記録画素数）
電池残量警告
AF警告
手ブレ警告
AFフレーム

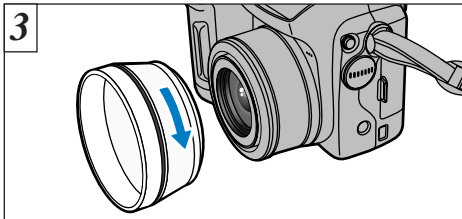
60
3M・F
AF

画面の文字表示例：再生

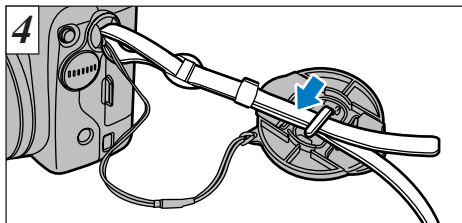
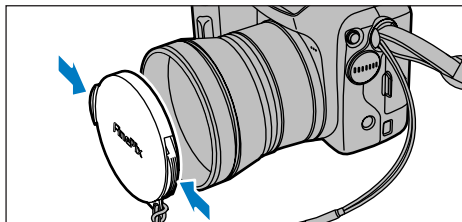
再生モード
ボイスメモ
日付
プロテクト
プリント予約
再生コマ番号
電池残量警告

123−9999
2002. 1. 1

レンズキャップ、ストラップ、アダプターリングを取り付けます

レンズキャップのヒモをストラップ取り付け部に通して取り付けます。

ストラップをストラップ取り付け部に取り付けます。両端を取り付けたら、ストラップが外れないことを十分にご確認ください。

! レンズキャップをなくさないように、ヒモの取り付けをおすすめします。

! ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下する場合があります。

矢印方向にねじ込んでアダプターリングを取り付けます。

アダプターリングをカメラに取り付けると、レンズの保護・別売コンバージョンレンズの装着が可能になります。レンズを保護するために、常にカメラに取り付けておくことをおすすめします。

キャップの取り付け

撮影時はレンズキャップの写り込みを防ぐため、レンズキャップをストラップに取り付けます。

レンズキャップは左右を押しながら取り付け、取り外します。

◆コンバージョンレンズの紹介◆

ワイドコンバージョンレンズWL-FX9

レンズのF値を変えずに焦点距離を0.79倍（広角：30mm相当）に変換します。

●**ワイドコンバージョンレンズ仕様**

倍率：0.79倍　レンズ構成：3群3枚　撮影範囲：約10cm〜無限遠
外形寸法：φ70mm×32mm　質量：約185g
付属品：アダプターリングAR-FX9、レンズキャップ（前後）、レンズポーチ

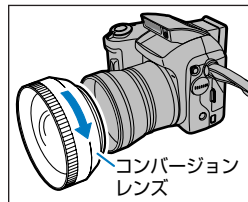
❗同梱のアダプターリング（FinePix4900/6900/S602用）はご使用できません。
❗広角側でご使用ください。
❗ワイドコンバージョンレンズ使用時はストロボを併用できません。

テレコンバージョンレンズTL-FX9

レンズのF値を変えずに焦点距離を1.5倍（望遠：340mm相当）に変換します。

●**テレコンバージョンレンズ仕様**

倍率：1.5倍　レンズ構成：3群3枚　撮影範囲：2.4m〜無限遠
外形寸法：φ65mm×55mm　質量：約100g
付属品：レンズキャップ（前後）、レンズポーチ

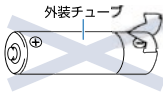
❗望遠側でご使用ください。広角側ではケラレが生じます。
❗テレコンバージョンレンズ使用時はストロボを併用できません。

❗アダプターリングを取り付けると市販のフィルター（55mmφ）を取り付けられますが、2枚以上重ねて使用しないでください。

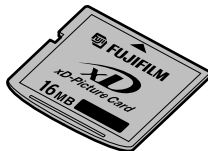
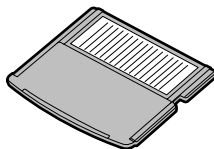
電池とxDピクチャーカードを入れる

使用する電池

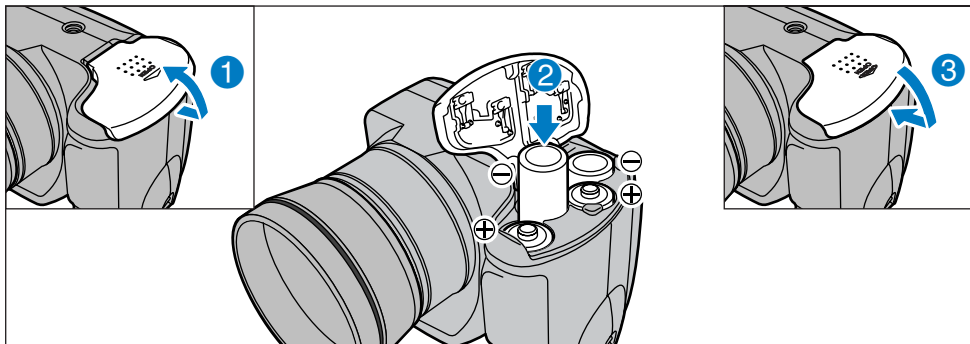
単3形アルカリ乾電池(4本)、または単3形ニッケル水素電池(4本)

◆電池について◆

- 付属のアルカリ乾電池と同銘柄の使用をおすすめします。
- 外装チューブが破れたりはがれている電池は絶対に使用しないでください。ショートにより電池の液もれ、発熱により重大な事故の原因となります。
- 種類の違う電池や、新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- リチウム電池やマンガン乾電池、ニカド電池は使用できません。
- アルカリ乾電池は銘柄により寿命に差があり、付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命が短い場合があります。また、アルカリ乾電池はその特性上、寒冷地(+10℃以下)では作動可能時間が極端に短くなるため、ニッケル水素電池の使用をおすすめします。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、電池作動可能時間が極端に短くなることがあります。
- ニッケル水素電池の充電には、別売の充電器(➡88ページ)が必要です。
- 電池についてのご注意は91ページをご参照ください。

使用するxDピクチャーカード(別売)

- DPC-16(16MB)
- DPC-32(32MB)
- DPC-64(64MB)
- DPC-128(128MB)

表側　　裏側

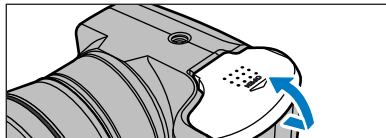
❗本カメラでの動作保証は弊社製xDピクチャーカードのみとなります。

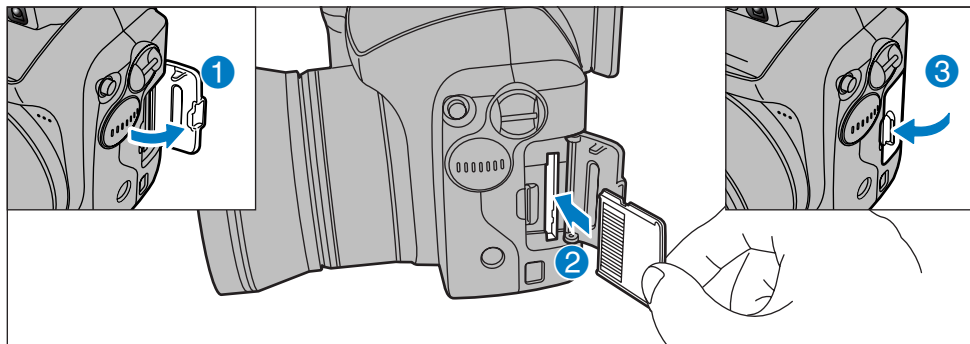
❗xDピクチャーカードについてのご注意は93、94ページをご参照ください。

❶電池カバーをスライドさせて開けます。
❷電池を表示に従って正しく入れます。
❸電池カバーを閉めます。

❗電池カバーに無理な力を加えないでください。

電池カバーは、電源を入れたまま開けないでください。xDピクチャーカード、または画像ファイルなどが破壊されることがあります。

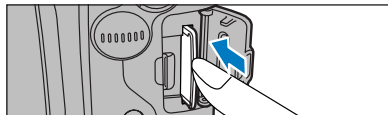
◆電池を交換したいときは◆

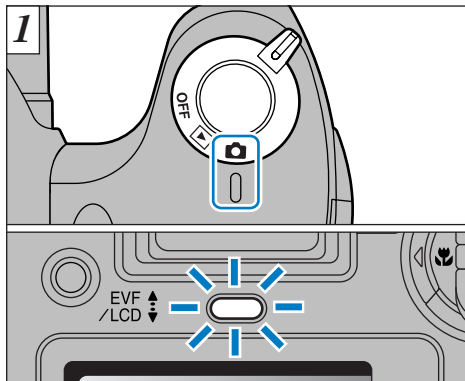
電源レバーが"OFF"に合っていることを確認し、電池カバーを開け、電池を取り出してください。

❗電池カバーを開閉するときは、電池を落とさないように注意してください。

電池とxDピクチャーカードを入れる

❶スロットカバーを開きます。
❷xDピクチャーカードスロットにxDピクチャーカードを確実に奥まで差し込みます。
❸スロットカバーを閉めます。

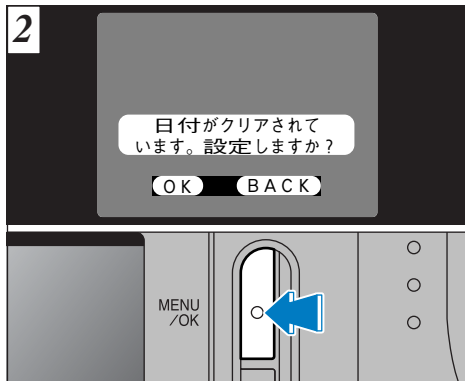
❗電源が入った状態で電池カバーを開けると、xDピクチャーカード情報保護のため電源が切れます。
❗xDピクチャーカードの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。
❗xDピクチャーカードを保管するときは、必ず専用のケースに入れてください。

◆xDピクチャーカードを交換したいときは◆

xDピクチャーカードを押し込んだあと静かに指を戻すと、ロックが外れてxDピクチャーカードが押し出されます。押し出されたあと、xDピクチャーカードを引き出すことができます。

❗ロックが外れた直後にxDピクチャーカードから急に指を離すと、xDピクチャーカードが飛び出す場合がありますので注意してください。

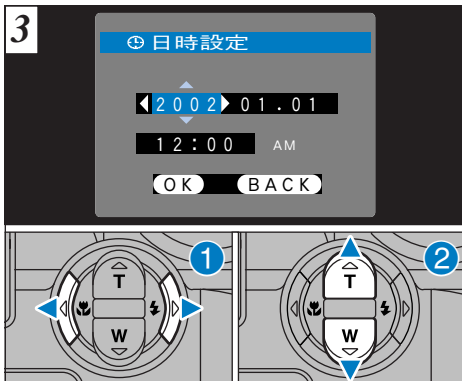
電源のON/OFF

電源レバーをまわして電源をON（入）/OFF（切）します。

📷　：撮影モード
▶　：再生モード
OFF：電源OFF

電源を入れるとインジケーターランプ［緑］が点灯します。

初めて電源を入れると、日付がクリアされています。“MENU/OK” ボタンを押して日時を設定します。

❗ あとで設定するときは “BACK” ボタンを押します。
❗ 日時を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。

1

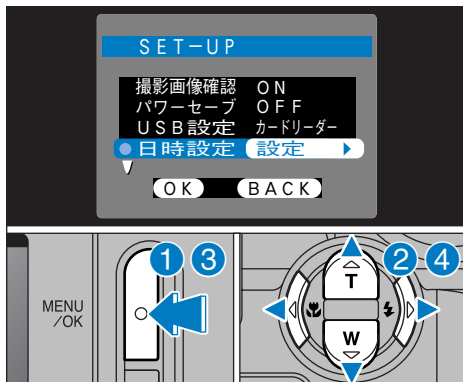
❶"◀▶"で年・月・日・時・分を選びます。
❷"▲▼"で設定します。

日時を設定したら、"MENU/OK"ボタンを押します。
実行すると撮影または再生モードになります。

❗"▲"または"▼"を押し続けると数字が連続して変わります。

❗時刻表示で"12:00"を越えると、自動的にAM(午前)/PM(午後)が切り換わります。

❗時刻をより正確に合わせたいときは時報のゼロ秒時に"MENU/OK"ボタンを押すことをおすすめします。

❗設定した日時は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約2時間以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約6時間保持されます。

日時を修正するには

❶“MENU/OK”ボタンを押します。
❷“◀▶”で“SET 各種設定”を選び、“▲▼”で“SET−UP”を選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。
❹“日時設定”を選び、“▶”を押します。
日時の設定方法は16ページをご参照ください。

◆電池残容量の確認◆

電源を入れ、画面に電池残容量表示（▮・▯）がされていないことを確認します。何も表示されていないときは、電池の残容量は十分です。

- “▮”赤点灯：電池の残容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、電池の交換をおすすめします。
- “▯”赤点滅：電池の残容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください。

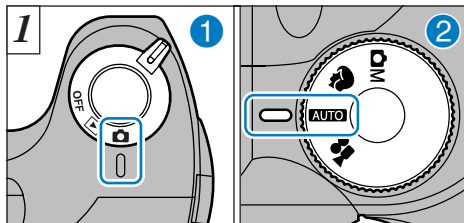
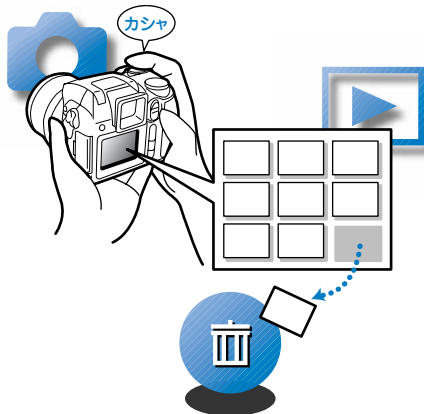
！残容量のない電池（▯赤点滅）は、レンズが収納されないで電源が切れるなど故障の原因となるため、再利用しないでください。
！上記は撮影モードでの目安です。再生モードでは“▮”から“▯”になるまでの時間が短くなることがあります。

◆パワーセーブ機能◆

2分間操作しないと電源が自動的に切れます。機能有効時は、約30秒間操作をしないと画面を消し、消費電力を抑えます（詳しくは➡78ページ）。電源を入れ直すには、電源レバーを“OFF”に合わせてから、電源レバーを“📷”にもどしてください。

1

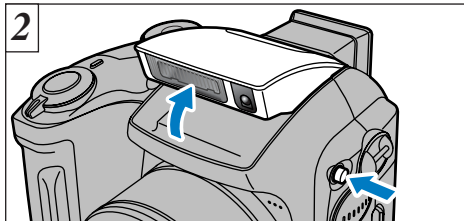
撮影してみましょう（オート撮影）

準備編をお読みいただき、撮影の準備が終わっていることと思います。
基本編では、「撮る」➡「見る」➡「消す」という基本操作を説明していきます。
実際に操作しながら、基本操作をマスターしましょう。

❶電源レバーを“📷”に合わせ、❷モードダイヤルを“AUTO”に合わせます。

●撮影可能距離：約80cm～無限遠

! 約80cmより近づいた場合にはマクロを設定してください（➡33ページ）。

! レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は90ページを参照してレンズをきれいにしてください。

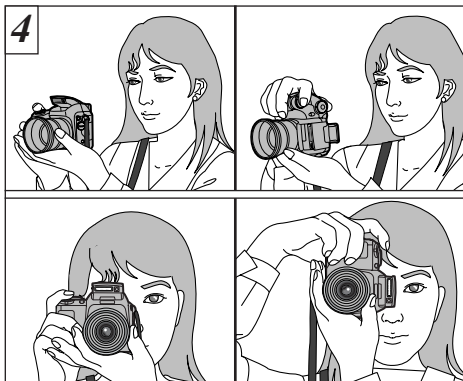
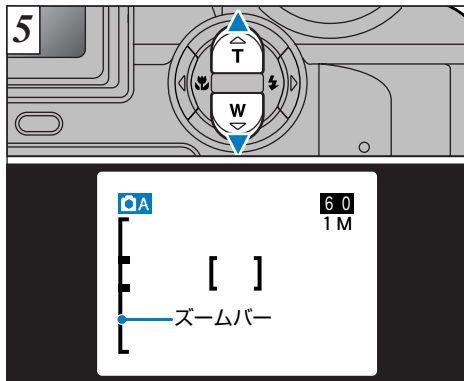
! “カードエラー”“記録できませんでした”“再生できません”“フォーマットされていません”が表示された場合は95～97ページをご参照ください。

“⚡OPEN”ボタンを押して、ストロボをポップアップします。

静止画モードに設定した直後は、液晶ファインダーがONになっています。“EVF/LCD”ボタンを押すたびに、液晶ファインダーと液晶モニターのどちらを使用して撮影するか切り換えられます。

- 撮影モード“AUTO”の場合、オートストロボの使用をおすすめします。
- ストロボをポップアップしたときや、ストロボ撮影をした場合、ストロボを充電するために映像が消えて黒い画面になる場合があります。このときインジケーターランプが橙色の点滅をします。
- 雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボの反射で画像に白点が写ることがあります。

- 液晶ファインダーと液晶モニターのどちらを使用するかは、撮影モードと再生モードで別々に切り換えできます。

モード	初期状態	切り換え後
撮影	液晶ファインダー	液晶モニター
再生	液晶モニター	液晶ファインダー

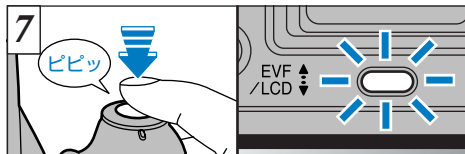
＊電源を切ると初期状態に戻ります。

両脇を締め、両手でカメラを構えます。
レンズやマイク、ストロボ調光センサーに、指やストラップが掛からないようにしてください。

被写体を大きく写したいときは、“▲”（T望遠ズーム）を押します。広い範囲を写したいときは、“▼”（W広角ズーム）を押します。このとき画面に“ズームバー”が表示されます。

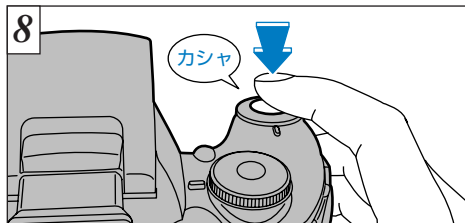
●光学ズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
約38mm〜228mm相当
最大ズーム倍率 6倍

❗指やストラップがレンズなどに掛かると、適正な撮影ができないことがあります。

❗光学ズームとデジタルズーム（➡28ページ）の切り換わり時は、いったんズームが止まります。

被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

❗明るい屋外では、液晶モニターで被写体が確認しにくいことがあります。その場合、液晶ファインダーの使用をおすすめします。
❗被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（➡25ページ）。

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います（インジケーターランプ［緑］が点滅から点灯）。そのとき画面のAFフレームが小さくなり、シャッタースピード/絞り値が決定されます。

❗“ピピッ”と音が鳴らずに画面に“❗AF”が表示されたときは、ピントが合っていません。
❗シャッターボタンを半押しすると、一時的に画面の映像が止まりますが記録される画像とは異なります。
❗“❗AF”が表示された場合（暗くてピントが合わないなど）、被写体から2m程度離れて撮影してください。

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込むと（全押し）、“カシャ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

◆シャッター半押し時の警告表示について◆

!AF ピントが合っていません。

対処方法
- 被写体から2m程度離れて撮影してください。
- AF/AEロック撮影を行ってください（➡25ページ）。

シャッター速度が遅いため、手ブレが発生しやすくなっています。

対処方法
- ストロボを使用してください。
- 三脚を使用してください。

! シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。
! 撮影するとインジケーターランプが橙色に点灯し（撮影不可）、その後緑色に変わると撮影できます。
! ストロボ充電中はインジケーターランプが橙色に点滅します。一瞬黒い画面になる場合がありますが、異常ではありません。
! 警告表示については95～97ページをご参照ください。

■インジケーターランプ表示について

表　示	状　態
緑点灯	準備完了（撮影可能）
緑点滅	AF・AE動作中、手ブレ警告、AF警告（撮影可能）
緑・橙の交互点滅	xDピクチャーカードに記録中（撮影可能）
橙点灯	xDピクチャーカードに記録中（撮影不可）
橙点滅	ストロボ充電中（ストロボ発光しません）
赤点滅	・xDピクチャーカードについての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、空き容量がない、xDピクチャーカード異常 ・レンズ動作異常

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- ●鏡・車のボディなど光沢があるもの
- ●ガラス越しの被写体
- ●髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- ●煙や炎などのように実体のないもの
- ●被写体が暗いとき
- ●被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- ●高速で移動する被写体
- ●AFフレーム付近に主被写体の他に明暗差がはっきりしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

このような場合にはAF/AEロック（➡25ページ）をお使いください。

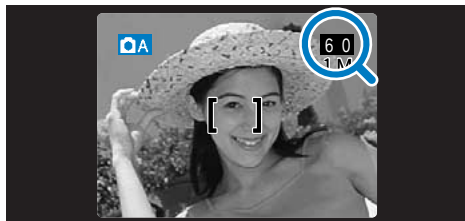
2

標準撮影可能枚数

撮影可能枚数について

画面に撮影可能枚数が表示されます。

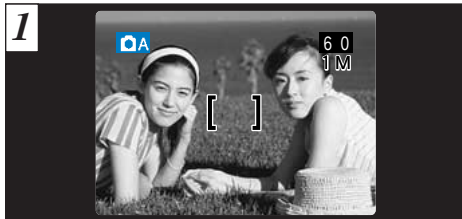
ピクセル設定の変更は、47ページをご参照ください。

工場出荷時の“ ”ピクセルは1Mです。

■xDピクチャーカード標準撮影枚数

被写体によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。また、実際の撮影枚数はxDピクチャーカードの容量が大きくなると、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	3M・F	3M・N	2M	1M	0.3M
記録画素数	2048×1536（約315万）		1600×1200（約192万）	1280×960（約123万）	640×480（約31万）
画像1枚のファイルサイズ	約1300KB	約590KB	約390KB	約320KB	約130KB
DPC-16（16MB）	12	26	39	49	122
DPC-32（32MB）	25	53	79	99	247
DPC-64（64MB）	50	107	159	198	497
DPC-128（128MB）	102	215	319	398	997

＊新しいxDピクチャーカードをカメラでフォーマットした状態で表示される撮影可能枚数です。

AF/AEロック撮影

このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

◆AF（オートフォーカス）/AE（オートエクスポージャー）ロック◆

このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

そのままシャッターボタンを半押し（AF/AEロック）し、画面のAFフレームが小さくなり、インジケーターランプ［緑］が点滅から点灯されるのを確認します。

シャッターボタンを半押し（AF/AEロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

❗AF/AEロック操作は、シャッターをきる前なら何回でもやり直せます。
❗AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

ベストフレーミング機能

撮影モード“AUTO・人物・カメラM”で設定できます。“DISP”ボタンを押すごとに画面の表示が切り換わります。“DISP”ボタンを押して“フレーミングガイド”を表示します。

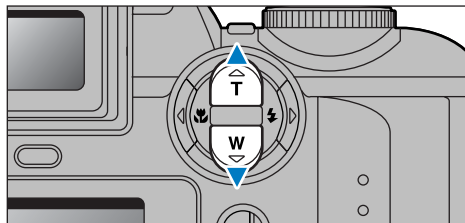
縦横3分割フレーム

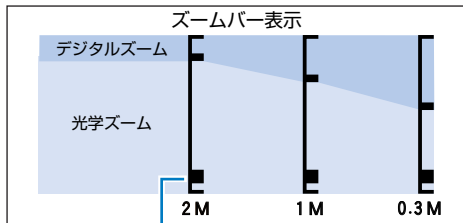
主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

- フレーミングガイドは画像に記録されません。
- 縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

◆重要◆

必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

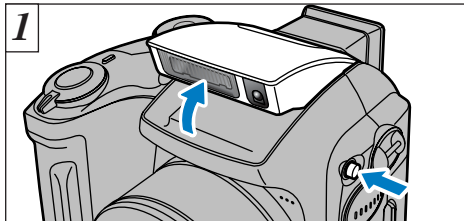
ズーム撮影

被写体を大きく写したいときは“▲”を押します。
広い範囲を写したいときは“▼”を押します。
光学ズームした後、さらにデジタルズームを使用できます。

	デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）	最大ズーム倍率
3M	使用不可	
2M	約228mm～約291mm相当	1.28倍
1M	約228mm～約364mm相当	1.6倍
0.3M	約228mm～約729mm相当	3.2倍

ズームバーの“■”の位置でズームの状態が分かります。

- ●区切りより上の場合はデジタルズーム、区切りより下の場合は光学ズームです。
- ●“▲▼”を押すと“■”が上下に動きます。
- ●デジタルズームと光学ズームを切り換える際に、いったん“■”が停止します。もう一度同じ方向に押すと、“■”が動いて切り換わります。

! ズームしてピントがずれた場合、シャッターボタンを半押ししてください。

! 光学ズームは約38mm～約228mm相当（35mmカメラ換算）です。

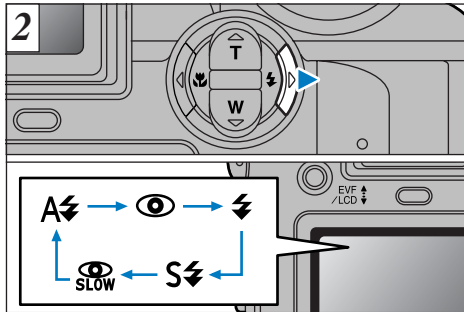
 ! ピクセル（画像サイズ）設定の変更（➡47ページ）。

ストロボ

ストロボの設定を変えるには、ストロボをポップアップします。
ストロボが閉じているとストロボの設定を変えられません。

●ストロボ撮影可能距離（AUTO時）
広角側：約0.3m〜約3.5m
望遠側：約0.8m〜約3.5m

! 撮影モード“AUTO”の場合、オートストロボの使用をおすすめします。

! ストロボをポップアップしたときや、ストロボ撮影をした場合、充電するために映像が消えて黒い画面になる場合があります。このときインジケーターランプが橙色の点滅をします。

! 雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボの反射で画像に白点が写ることがあります。

“⚡”ストロボボタン（▶）を押して使用するストロボモードを選びます。

! 電池の残容量が少ない場合、ストロボ充電時間が長くなることがあります。

2

オートストロボ

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。明るいところでもストロボ撮影が行われます。

S スローシンクロ

スローシャッターでストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。

SLOW 赤目軽減+スローシンクロ

赤目軽減のスローシンクロ撮影です。

- 明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。
- スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

> 背景の夜景をより明るく撮りたい場合は、“ ”モードの“ ”（夜景）の使用をおすすめします
> （➡41ページ）。

2

ストロボ発光禁止

ストロボを閉じると発光禁止になります。
室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。この場合、オートホワイトバランス（➡103ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。

◆ストロボの設定が変更できないときは◆

●ストロボをポップアップしているか確認してください。

●撮影モード“ ”の“風景”撮影または“連写”撮影では、ストロボをポップアップしていても、“ストロボ発光禁止”となります。

暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

手ブレ警告については95ページをご参照ください。

マクロ（近距離）

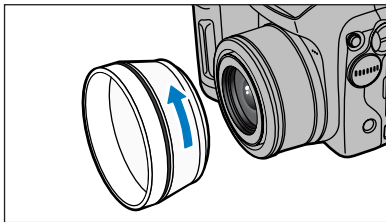
マクロを設定すると近距離撮影ができます。

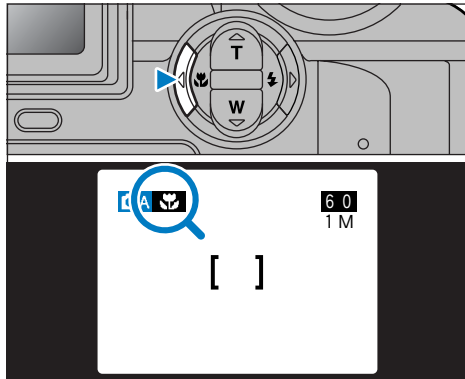
●撮影可能距離：約10cm〜約80cm

マクロ撮影は、次のとき自動的に解除されます。
- 撮影モードを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

設定すると“ ”が一瞬大きく表示されます。

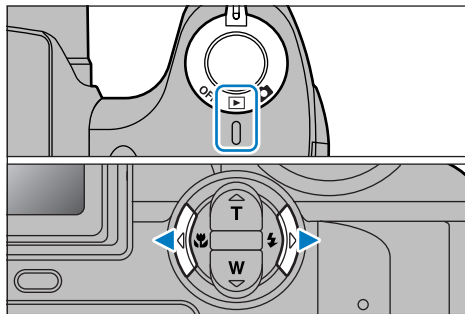
暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします（“ ”手ブレ警告が表示されているとき）。

◆ストロボを使用するときは◆

マクロ撮影時に、ストロボを使用するときは、アダプターリングを外してください。アダプターリングを外さないと、画面の下部中央にカゲが写る場合があります。

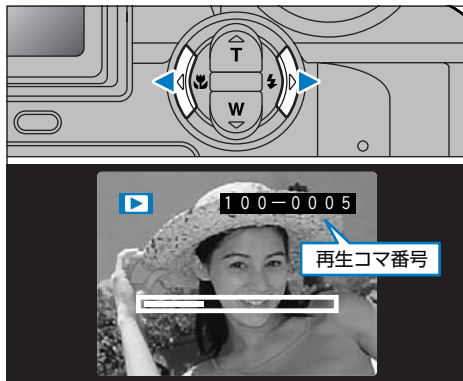
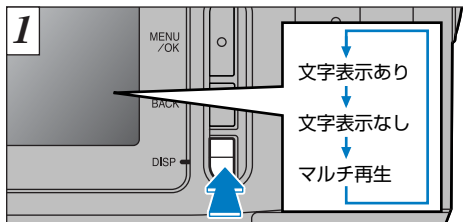
●撮影可能距離：約30cm〜約80cm

“ ”マクロボタン（◀）を押します。画面に“ ”が表示され、近距離撮影ができます。
マクロを解除するには、もう一度“ ”マクロボタン（◀）を押します。

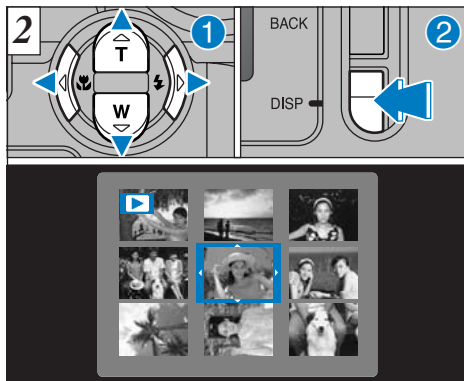
撮影モード“ ”では“ 連写”撮影のみでマクロ設定できます。

2

画像を見るには(1コマ再生)

電源レバーを“▶”に合わせます。“▶”順送り、“◀”逆送りで画像を見ることができます。

- 電源レバーを“▶”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。
- 本機で記録した静止画、または、xDピクチャーカード対応の弊社製デジタルカメラで記録した静止画(一部非圧縮画像を除く)が再生できます。

画像の早送り

再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると再生コマ番号が増減し、画像を早送りできます。表示されている画像は変わりませんが、xDピクチャーカード内のおおよその再生位置が目安となるバーで表示されます。

マルチ再生

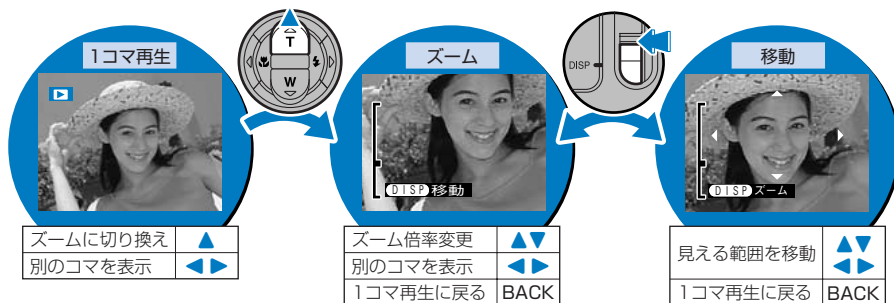
再生モードでは“DISP”ボタンを押すごとに画面の表示が切り換わります。“DISP”ボタンを押してマルチ再生(9コマ)にします。

❶“▲▼◀▶”でカーソル(橙色の枠)を動かして、コマを選べます。数回“▲”か“▼”を押すと次のページに切り換わります。

❷もう一度“DISP”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

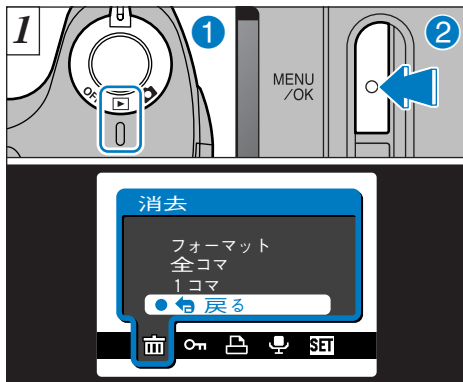
❗画面の文字表示は約3秒後に消えます。

❗再生ズーム中はマルチ再生はできません。

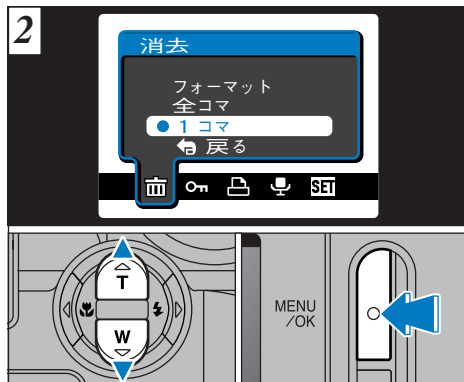
▶ 再生 再生ズーム

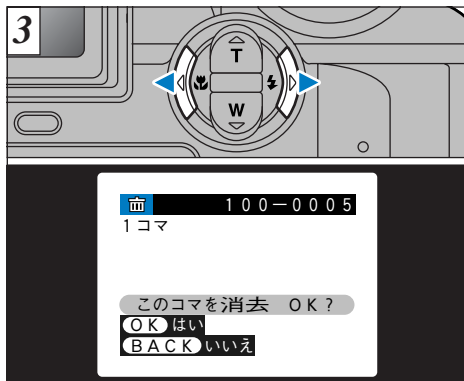
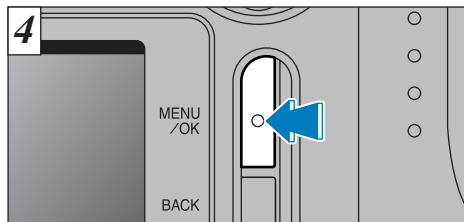
撮影後のピント確認などに便利な機能です。
1コマ再生中に “▲” を押すと、ズーム画面に切り換わります。

ピクセル	3M（2048×1536）	2M（1600×1200）	1M（1280×960）	0.3M（640×480）
最大ズーム倍率	12.8倍	10.0倍	8.0倍	4.0倍

! 他機種で撮影された画像は、再生できないことがあります。
! マルチ再生中は再生ズームできません。

▶ 再生 画像を消すには（1コマ消去）

❶電源レバーを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すとメニューが表示されます。

❗“戻る”を選んで“MENU/OK”ボタンを押すと、消去せずに再生に戻ります。

誤って画像を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

“▲▼”で“🗑”消去の“1コマ”を選び“MENU/OK”ボタンを押します。
全コマ、フォーマットについて詳しくは57ページをご参照ください。

画像を消すには（1コマ消去）

“◀▶”を押して消去したいコマ（ひとつのファイル）を表示します。

“MENU/OK”ボタンを押すと、表示中のコマ（ひとつのファイル）が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“このコマを消去 OK？”が表示されます。

❗ 1コマ消去をやめたい場合は、“BACK”ボタンを押してください。

消去を続けるには、3、4の操作を繰り返します。

応用編 撮影では

応用編撮影では、電源レバーを“📷”に合わせた状態で行えるいろいろな機能をご紹介します。

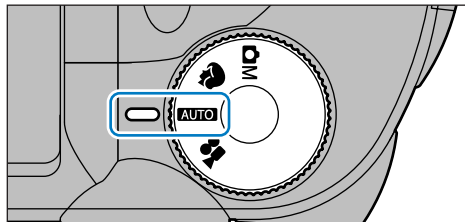
■撮影モード機能一覧

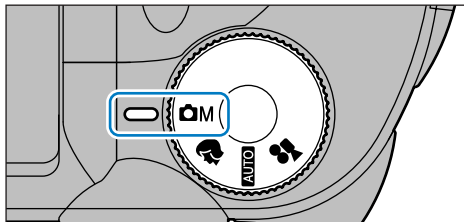
		AUTO オート	シーンポジション	M マニュアル	動画
▶	ストロボ(A/👁/⚡/S⚡/SLOW)	○	○＊1	○	×
◀	マクロ(ON/OFF)	○	×＊2	○	×
メニュー	ピクセル(静止画:0.3M/1M/2M/3M･N/3M･F) (動　画:160/320)	○	○	○	○
メニュー	セルフタイマー(ON/OFF)	○	○	○	×
メニュー	シーンポジション(/ / / /)	×	○＊1	×	×
メニュー	アカルサ(露出補正−2.1〜+1.5)	×	×	○	×
メニュー	WB ホワイトバランス(/ / / / / / AUTO)	×	×	○	×
メニュー	A 絞り優先(AUTO/F2.8/F4.8/F8.2)	×	×	○	×
メニュー	S シャープネス(ハード/ノーマル/ソフト)	×	×	○	×
メニュー	ストロボ(光量補正−0.6〜+0.6)	×	×	○	×
メニュー	SET 各種設定(SET−UP/モニター明るさ)	○	○	○	○

＊1 撮影モード“ ”では“ シーンポジション”メニューの設定により、使用できるストロボモードが制限されます(➡41ページ)。
＊2 撮影モード“ ”では“ 連写”撮影のみでマクロ設定できます。

3

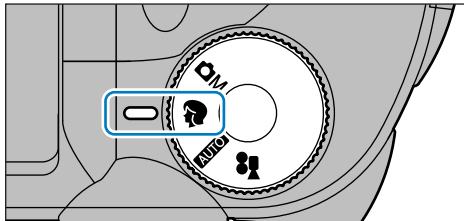
AUTO／M マニュアル

AUTO オート撮影

最も簡単に撮影できる撮影用途の広いモードです。

■設定可能メニュー
ピクセル、セルフタイマー、SET各種設定

M マニュアル撮影

撮影に関するさまざまなメニューを設定できるモードです。

● マニュアル撮影のみで使用できるメニュー
アカルサ（露出補正）・ホワイトバランス・絞り優先・シャープネス・ストロボ（光量補正）

■設定可能メニュー
ピクセル、セルフタイマー、アカルサ、WBホワイトバランス、A絞り優先、Sシャープネス、ストロボ、SET各種設定

シーンポジション

“ ” シーンポジションでは、撮影シーンに適した5種類のモードが選べます。詳しくは42ページをご参照ください。

❶ “MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。
❷ “◀▶” で “ シーンポジション” を選び、“▲▼” で設定を変更します。
❸ “MENU/OK” ボタンを押して決定します。

■設定可能メニュー
ピクセル、セルフタイマー、シーンポジション、SET各種設定

人物

人物撮影に適したモードです。肌の色がきれいに見え、ソフトな感じに仕上がります。

- ストロボ使用時：
  オートストロボ・赤目軽減・強制発光・スローシンクロ・赤目軽減＋スローシンクロ

風景

昼間の風景撮影に適したモードです。建物や山など風景をくっきりと仕上げます。

- ストロボ使用時：
  自動的に発光禁止になり、設定を変えられません。

スポーツ

動体撮影に適したモードです。

- シャッター：
  高速側のシャッタースピードで撮影されます。
- ストロボ使用時：
  オートストロボ・強制発光ストロボのみ。

夜景

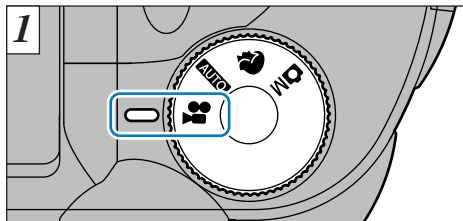
夕景や夜景の撮影に適したモードです。

- シャッター：
  スローシャッターモードで最長約3秒。
- ストロボ使用時：
  スローシンクロ・赤目軽減＋スローシンクロのみ。

連写

撮影シーンを限定せず、連続して撮影するときに使用します。

- 連続撮影枚数：2枚
- ピント、露出、ホワイトバランス：
  1コマ目を撮影したときに決定されます。
- ストロボ使用時：
  自動的に発光禁止になります。

動画

"動画"動画は音声付きの動画が撮れるモードです。"ピクセル"の設定(➡47ページ)によって1回に記録できる最長秒数が200秒(160)または60秒(320)にかわります。

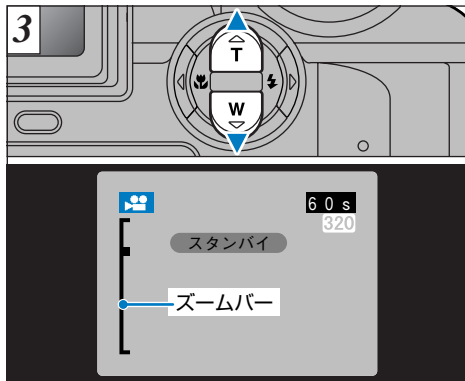
●撮影形式:Motion JPEG形式(➡103ページ)
320(320×240ピクセル)
160(160×120ピクセル)
切り換え式
10フレーム/秒
音声付き

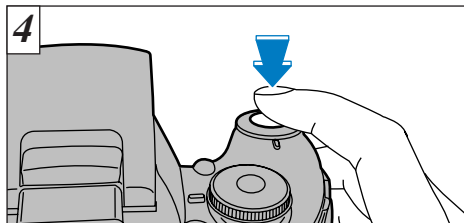
! 音声が同時に記録されるので、指などでマイク(➡6ページ)をふさがないようご注意ください。
! xDピクチャーカードの空き容量によっては、一回の撮影時間が短くなることがあります。
! 本機以外のカメラでは再生できない場合があります。

画面に撮影可能時間と"スタンバイ"が表示されます。

■xDピクチャーカード標準撮影可能時間

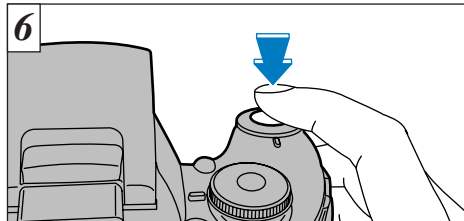
xDピクチャーカード容量	ピクセル	
	320	160
DPC-16(16MB)	94秒(1.5分)	300秒(5分)
DPC-32(32MB)	191秒(3.1分)	606秒(10.1分)
DPC-64(64MB)	384秒(6.4分)	1212秒(20.2分)
DPC-128(128MB)	774秒(12.9分)	2436秒(40.6分)

*xDピクチャーカードをカメラでフォーマットした状態での撮影可能時間です。
*撮影被写体により多少の増減があります。撮影時間は、xDピクチャーカードの容量が大きくなるほど、標準撮影可能時間との差が大きくなる場合があります。

動画撮影ではレンズが広角側に固定され、デジタルズームのみになります。"▲▼"ボタンでズームできます。画面に"ズームバー"が表示されます。

ピクセル	(35mmカメラ換算)焦点距離	最大ズーム倍率
320	約38mm～約 95mm	2.5倍
160	約38mm～約190mm	5.0倍

シャッターボタンを全押しすると撮影が開始されます。

- 動画で使用する場合、蛍光灯スタンドなどで被写体を照明すると、より明るく撮影することができます。
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- ピントは約80cm～無限遠の固定になります。
- 撮影中はピント、ホワイトバランスは固定されますが、露出はシーンに応じて自動的に変化します。
- 撮影前に画面で見る画像と動画記録中の画面の画像は、明るさや色などが異なる場合があります。

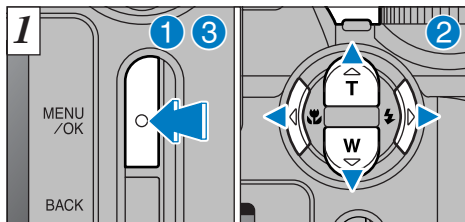
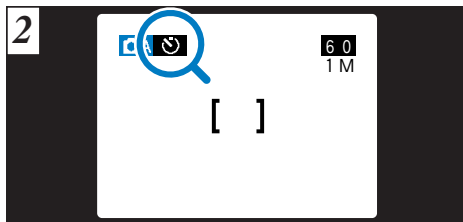
ホワイトバランスはシャッターボタンを全押しすると、自動的に設定されます。

撮影中は、画面右上に残り時間をカウントダウン表示します。

撮影中にもう一度シャッターボタンを押すと撮影を終了します。

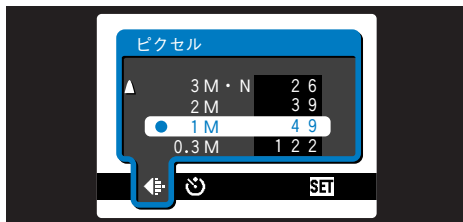
3

❗残り時間がなくなると自動的に録画が終了し、xDピクチャーカードに記録されます。

❗撮影開始後すぐに終了しても、約1秒間だけ撮影されます。

撮影メニューの操作

❶“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶” でメニューを選びます。“▲▼” で設定を変更します。
❸“MENU/OK” ボタンを押して決定します。

設定を有効にすると画面左上にアイコンが表示されます（オート撮影でセルフタイマーを設定した場合の例）。

❗撮影モードにより設定可能撮影メニューは変わります。

撮影メニュー ピクセル（記録画素数）

記録画素数の設定は“ピクセル”で、行います。

＊メニューの表示方法（➡46ページ）

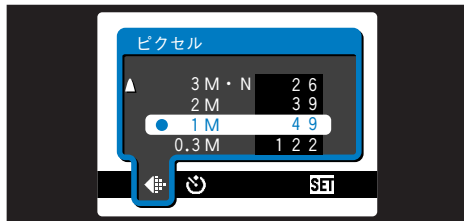
	記録画素数	用　途
静止画（AUTO・・M）	3M・F（2048×1536）	プリント向け
	3M・N（2048×1536）	↕
	2M（1600×1200）	
	1M（1280×960）	インターネット向け
	0.3M（640×480）	
動画（）	320（320×240）	—
	160（160×120）	

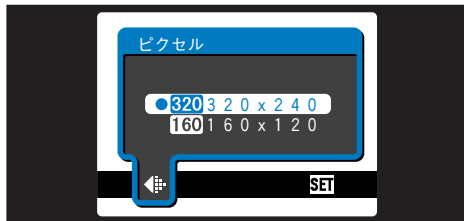
<設定例>

- A4サイズ程度にプリントする場合
  → 3M・F、3M・N
  ＊画質を優先する場合は“3M・F”を、枚数を優先する場合は“3M・N”を選んでください。
  通常は“3M・N”で十分な画質が得られます。
- A5サイズ程度にプリントする場合 → 2M
- A6（ハガキ）サイズ程度にプリントする場合
  → 1M
- eメールの画像添付用 → 0.3M

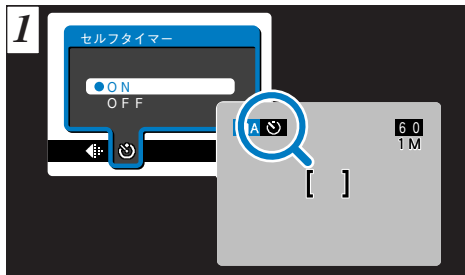
次ページにつづく

ピクセル（記録画素数）

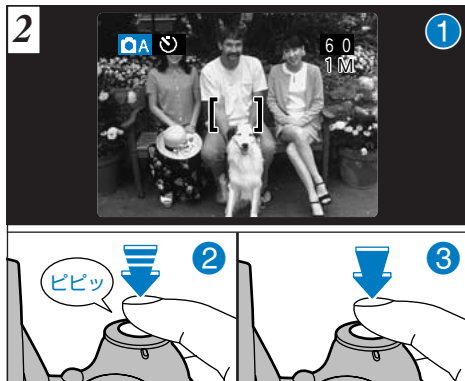
静止画（AUTO・・M）

5種類の設定から選べます。
目的に応じた設定をしてください。

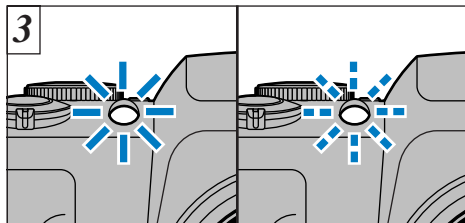
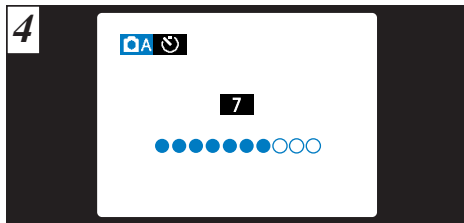
動画（）

2種類の動画サイズを選べます。画質を優先する場合は、“320”を、撮影時間を長くする場合は“160”を選びます。

セルフタイマー

※メニューの表示方法（➡46ページ）

撮影モード"AUTO・・M"で設定できます。
セルフタイマーをONにすると、画面に"⏲"が表示されます。
約10秒間のセルフタイマー撮影です。撮影者自身を撮影する場合などに使用します。

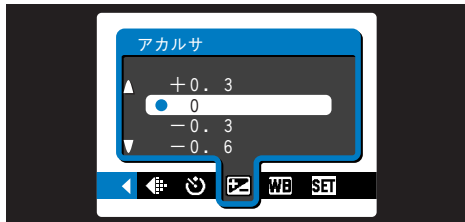
❗セルフタイマーは、次のときに自動的に解除されます。
- 撮影が完了したとき
- モードダイヤルを切り換えたとき
- 電源レバーを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

❗AF/AEロック撮影も可能です（➡25ページ）。
❗レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ（露出）にならないことがあります。

①AFフレームを被写体に合わせます。
②シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
③半押しのまま、さらにシャッターボタンを押し込むと（全押し）、セルフタイマーが開始されます。

次ページにつづく

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に“カシャ”と音が鳴り撮影されます。

撮影されるまでの間、画面にカウントダウン(秒読み)表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

❗開始したセルフタイマー撮影は、“BACK”ボタンを押すと解除できます。

撮影メニュー アカルサ（露出補正）

※メニューの表示方法（➡46ページ）

“M”の撮影モードで設定できます。
被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

●補正範囲：
－2.1EV～＋1.5EV、（13段階：約0.3EVステップ）
EVについては103ページをご参照ください。

◆次のような被写体のとき効果があります◆

＋（プラス）補正の目安

●白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写：＋1.5EV
●逆光の人物撮影：＋0.6EV～＋1.5EV
●スキー場などの明るい背景や反射の強い場合：＋0.9EV
●画面内を空の部分が大きく占める場合：＋0.9EV

－（マイナス）補正の目安

●スポットライトを浴びた人物、特に背景が暗い場合：－0.6EV
●黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写：－0.6EV
●常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：－0.6EV

次のような状態では、無効になります。
- オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
- 強制発光で撮影シーンが暗いとき

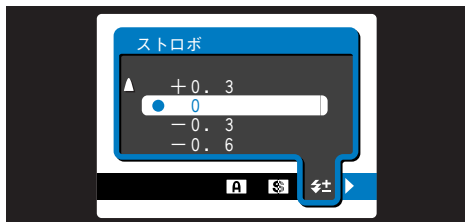
WB ホワイトバランス（光源選択）

※メニューの表示方法（➡46ページ）

撮影モード"M"で設定できます。
撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスが得られない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。
ホワイトバランスについては103ページをご参照ください。

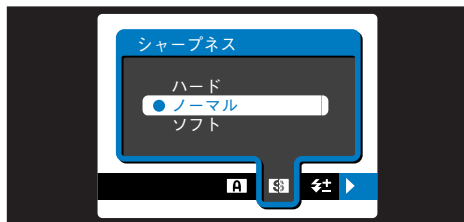
AUTO：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）
☀：晴れた屋外での撮影
：日陰での撮影
：昼光色蛍光灯下での撮影
：昼白色蛍光灯下での撮影
：白色蛍光灯下での撮影
：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時の、ホワイトバランスはストロボ用の設定になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止（➡32ページ）にしてください。

撮影メニュー ストロボ（光量補正）

“M” の撮影モードで設定できます。
光量補正は撮影目的や撮影条件に合わせて発光量のみを変えられます。

●補正範囲：
　－0.6EV～＋0.6EV、（5段階：約0.3EVステップ）
　EVについては103ページをご参照ください。

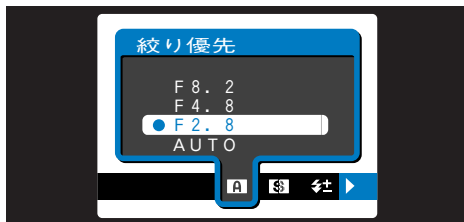
! 被写体条件および撮影距離等によっては、光量補正の効果が得られない場合があります。

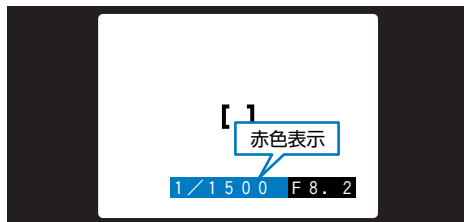
撮影メニュー シャープネス

“M” の撮影モードで設定できます。
輪郭をソフトにしたり強調したり、撮影画質を調整するときに使用します。

●3段階切り換えです。

ハード	：輪郭を強調します。 建物、文字などを鮮明にしたい撮影に最適です。
ノーマル	：通常の撮影に最適なシャープネス処理をします。
ソフト	：輪郭をソフトにします。 人物などソフトにしたい撮影に最適です。

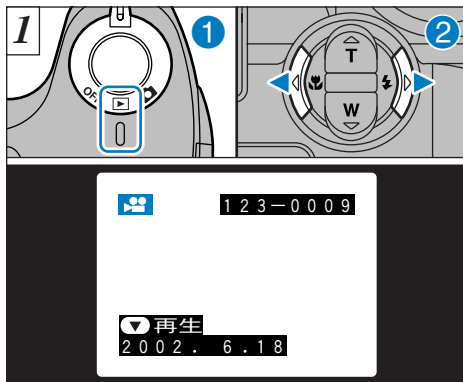
3

撮影メニュー A 絞り優先オート

“📷M”の撮影モードで設定できます。
絞り値を設定できるオートモードです。
背景をぼかす（開放）、遠くまでピントを合わせる（絞る）撮影ができます。

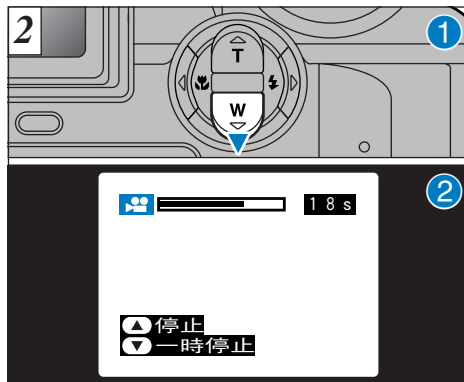
●絞り設定値：F2.8/F4.8/F8.2
　シャッタースピード（自動）：1/2秒〜1/1500秒

シャッターを半押ししたときに、シャッタースピードが赤色で表示された場合は、露出オーバーまたは露出アンダーです。適正露出になるように、絞り値を変更してください。

❗絞り優先オートでは、A⚡ストロボは使用できません。

動画再生

❶電源レバーを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”で動画ファイルを選びます。

❶“▼”を押すと再生されます。
❷画面に再生時間とバーが表示されます。

! マルチ再生では動画再生できません。“DISP”ボタンで通常再生にしてください。

“🎥”のアイコンで表示されます。

! スピーカーをふさがないでください。
! 音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください(➡75ページ)。
! 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦に白いスジが入ることがありますが故障ではありません。

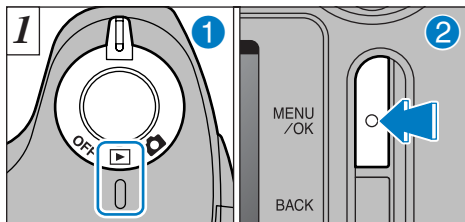
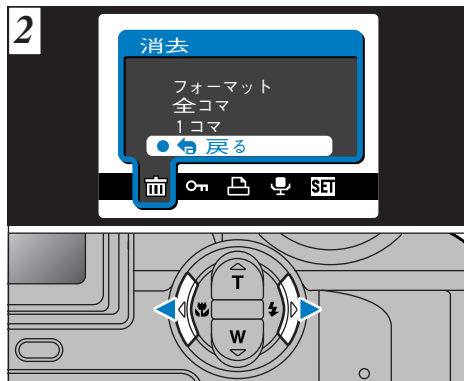
■動画再生操作方法

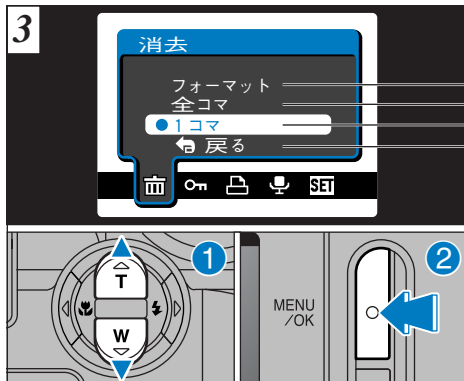
	操　作	説　明
再生		再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除		再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止		再生を停止します。 ※停止中に"◀▶"を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し		再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。
コマ送り	一時停止中	●一時停止中に"◀"または"▶"を押すたびに1コマずつ送られます。 ●押し続けると速く送られます。

＊パソコンでの再生については別冊：ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

◆動画ファイルの再生について◆

●本機以外で記録した動画ファイル（10フレーム/秒）以外は再生できない場合もあります。
●パソコンで再生する場合、xDピクチャーカード内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存して、そのファイルを再生してください。
●動画ファイルはデータ量が大きく、ご使用になるパソコンの性能によっては画像処理が追いつかずなめらかに再生されない場合があります。

🗑 消去　1コマ・全コマ/フォーマット

❶電源レバーを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

“◀▶” で “🗑” 消去を選びます。

誤って画像を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

消去　1コマ・全コマ/フォーマット

❶ "▲▼" で "1コマ"、"全コマ" または "フォーマット" を選びます。
❷ "MENU/OK" ボタンを押して決定します。

フォーマット

すべてのファイルを消去します。プロテクトされたファイルもすべて消去しますので、フォーマットする場合は十分にご注意ください。消去したくないファイルはハードディスクなどにコピーしてください。

全コマ

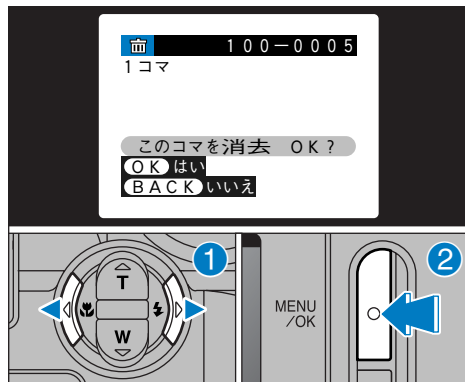
プロテクトされていないすべてのファイルを消去します。消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

1コマ

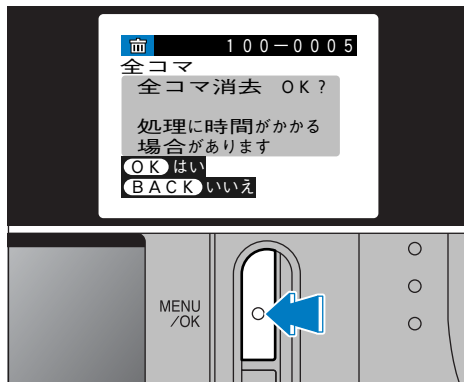
選んだファイルだけを消去します。

戻る

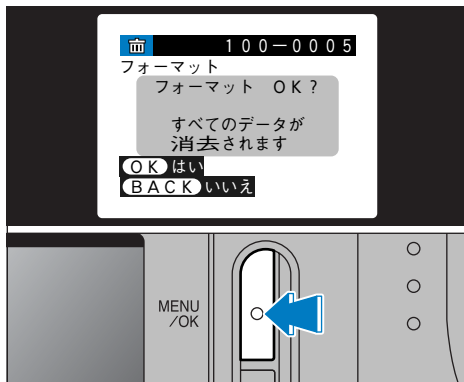
消去せずに再生に戻ります。

1コマ

❶"◀▶" で消去するファイルを選びます。
❷"MENU/OK" ボタンを押すと表示中のファイルを消去します。
続けて消去するには❶❷を繰り返します。
消去を終えるには "BACK" ボタンを押します。

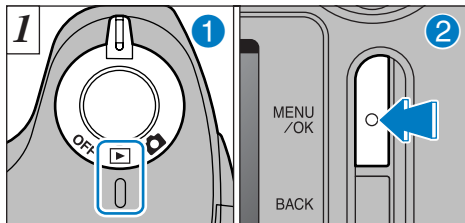
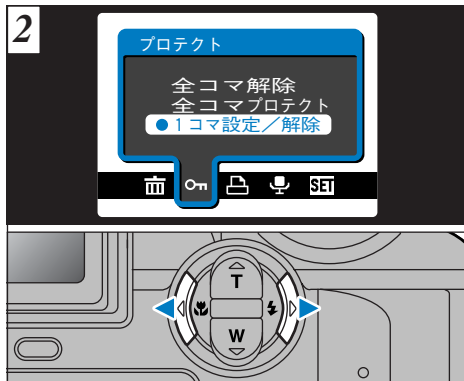
❗"プロテクトされています" が表示されるファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。

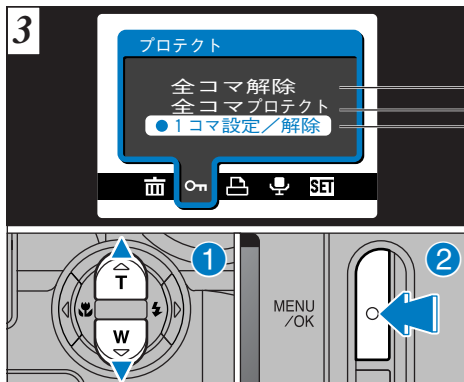
全コマ

"MENU/OK" ボタンを押すとプロテクトされていないすべてのファイルを消去します。

"プリント予約されています" が表示された場合、ファイルを消去するには "MENU/OK" ボタンをもう一度押します。

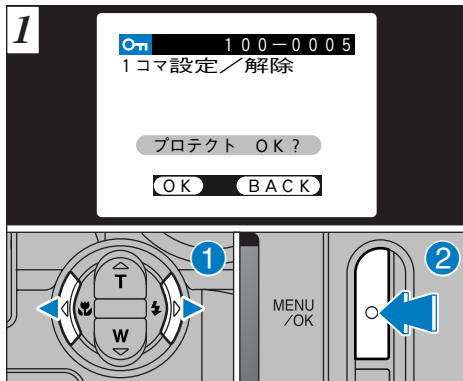
フォーマット

“MENU/OK” ボタンを押すとすべてのファイルが消去され、xDピクチャーカードが初期化されます。プロテクトされているファイルも消去されます。

❗ “カードエラー” “記録できませんでした” “再生できません” “フォーマットされていません” が表示された場合は、フォーマットする前に95〜97ページを参照し、対処してください。

▶ 再生メニュー On プロテクト　1コマ・全コマ

❶電源レバーを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

“◀▶”で“On”プロテクトを選びます。

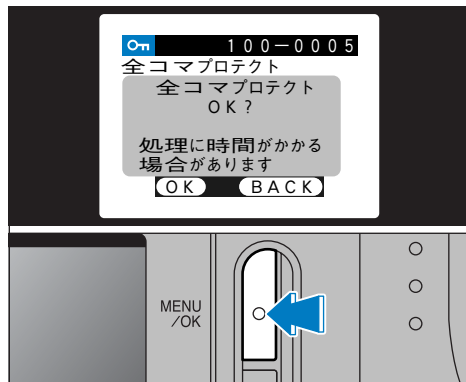
プロテクトとは、画像を誤って消去しないように設定することです。ただし“フォーマット”するとすべての画像が消去されます(➡60ページ)。

プロテクト　1コマ・全コマ

❶“▲▼”で“全コマ解除”、“全コマプロテクト”または“1コマ設定/解除”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

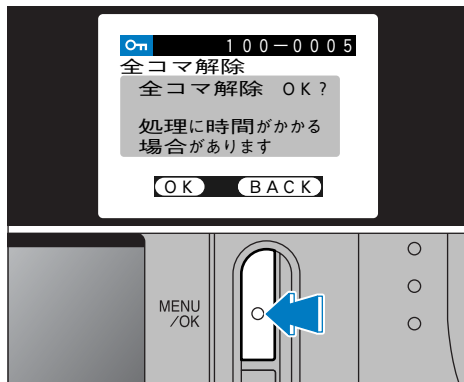
1コマ設定/解除

❶“◀▶”でプロテクトするファイルを選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のファイルをプロテクトします。
続けてプロテクトするには❶❷を繰り返します。
プロテクトを終えるには“BACK”ボタンを押します。

プロテクトを解除するには、もう一度“MENU/OK”ボタンを押します。

4

全コマプロテクト

“MENU/OK” ボタンを押すとすべてのファイルがプロテクトされます。

途中で処理をやめるには“BACK”ボタンを押します。

全コマ解除

“MENU/OK” ボタンを押すとすべてのファイルのプロテクトが解除されます。

途中で処理をやめるには“BACK”ボタンを押します。

プリント予約について

DPOF(ディーポフ)とはDigital Print Order Format(デジタルプリントオーダーフォーマット)のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をxDピクチャーカードなどに記録するときの形式です。

デジタルカメラ

xDピクチャーカード

DPOFファイル
・画像ファイルの指定

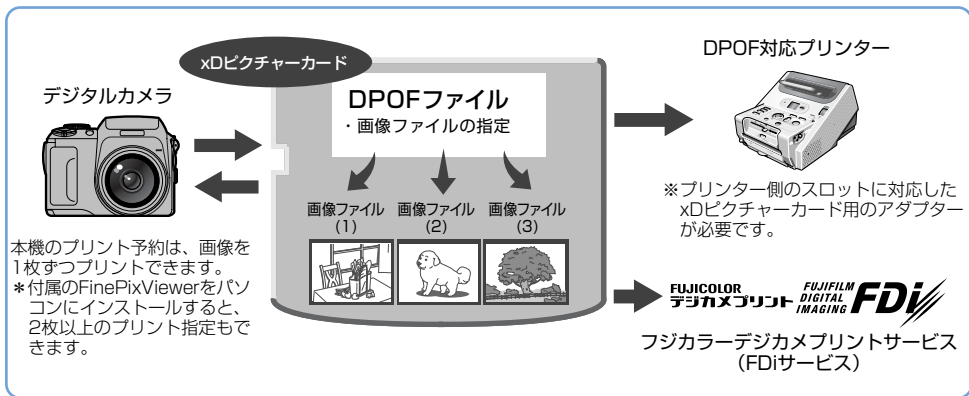
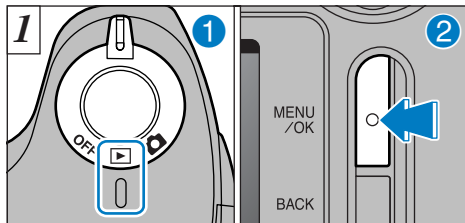
画像ファイル(1)　画像ファイル(2)　画像ファイル(3)

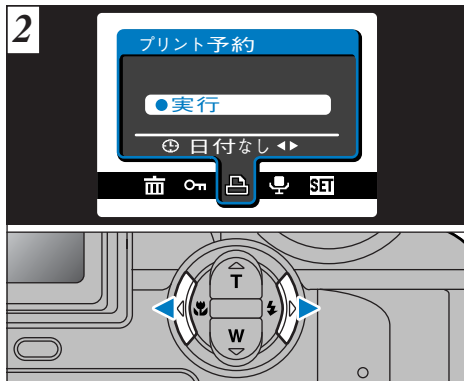
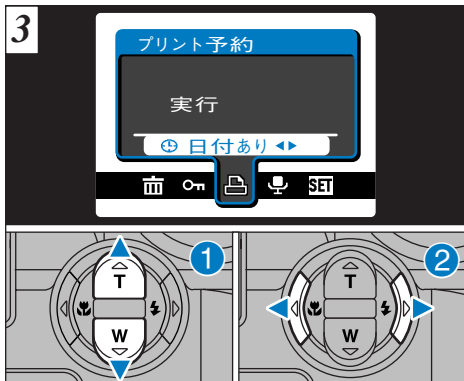
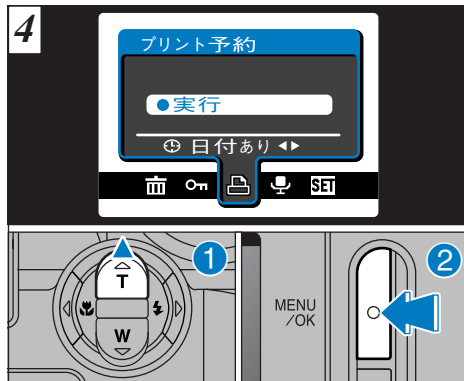
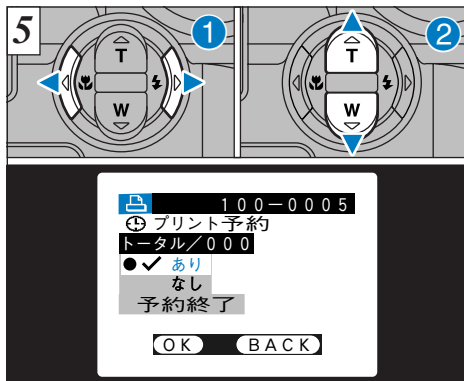
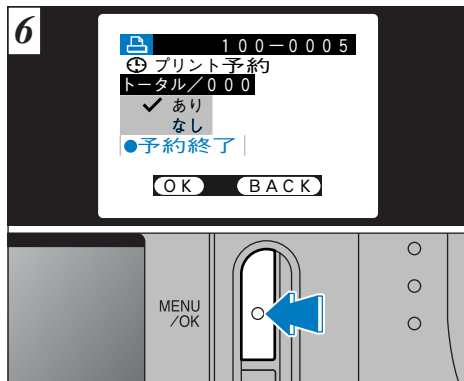
本機のプリント予約は、画像を1枚ずつプリントできます。
＊付属のFinePixViewerをパソコンにインストールすると、2枚以上のプリント指定もできます。

DPOF対応プリンター

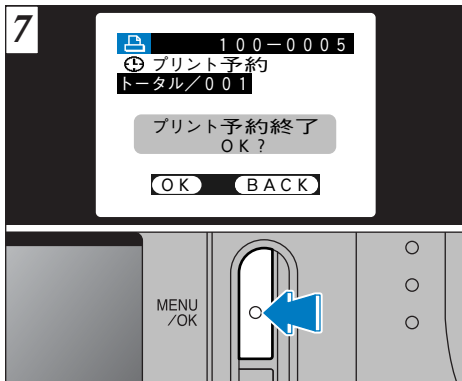
※プリンター側のスロットに対応したxDピクチャーカード用のアダプターが必要です。

FUJICOLOR デジカメプリント FUJIFILM DIGITAL IMAGING FDi

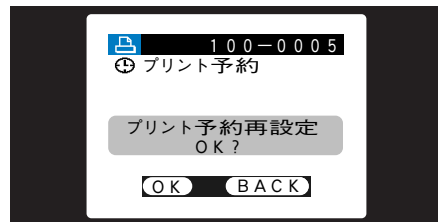
フジカラーデジカメプリントサービス(FDiサービス)

- DPOF対応デジタルカメラ(本機)では上記の情報をカメラの操作でxDピクチャーカードに記録することができます。
- DPOF情報を記録したxDピクチャーカードを、フジカラーデジカメプリントサービス(FDiサービス)取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ(画像ファイル)を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

🖶 プリント予約

❶電源レバーを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

“◀▶”で“🖶”プリント予約を選びます。

❶"▲▼" で "⊕" 日付を選びます。
❷"◀▶" で "日付あり" か "日付なし" を選びます。
プリント予約するすべてのコマに有効です。

❶"▲" を押して "実行" を選択します。
❷"MENU/OK" ボタンを押します。

❶“◀▶”で設定するコマを表示します。
❷プリントするコマに“▲▼”で“あり”を設定し、“MENU/OK”ボタンまたは“▶”を押します。
続けて設定するには、❶❷を繰り返します。

設定が終了したら、必ず“予約終了”を選択して、“MENU/OK”ボタンを押します。
“BACK”ボタンを押すとプリント予約されません。

❗動画はプリント予約できません。
❗“トータル”はプリント指定したコマ数の合計です。

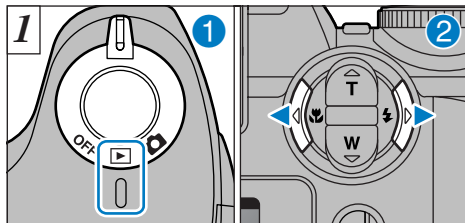
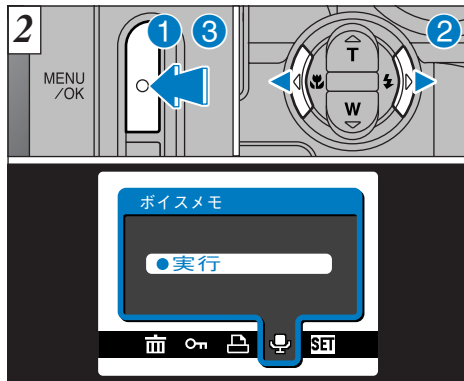
❗指定できるプリント枚数は1コマにつき1枚です。また、同一xDピクチャーカード内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

“MENU/OK” ボタンを押すとプリント予約設定が、決定されます。
“BACK” ボタンを押すと設定画面（5）に戻ります。

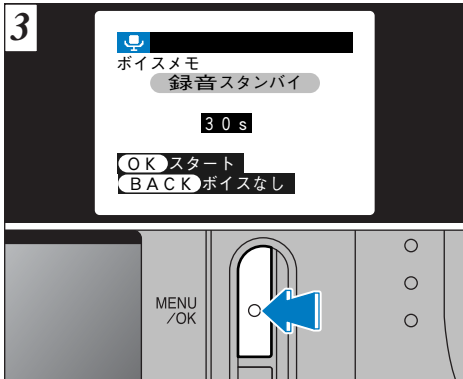
“MENU/OK” ボタンを押すとすべてが決定されます。

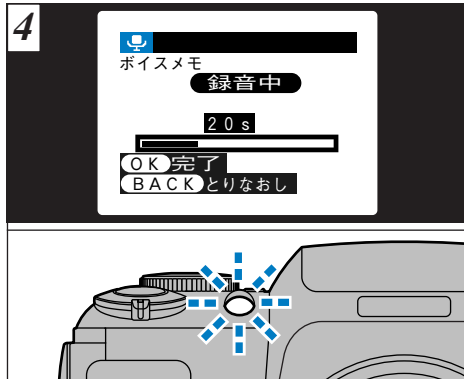
◆プリント予約の変更はできません◆

すでにプリント予約されたコマがある場合は“プリント予約再設定 OK ?”と表示されます。
“MENU/OK” ボタンを押すと、すでにプリント予約された設定はすべて消去されます。新たにプリント予約をやり直す必要があります。

❗“BACK” ボタンを押すと設定を変更しません。
❗前回の設定は再生時に“🖨”が表示され確認できます。

4

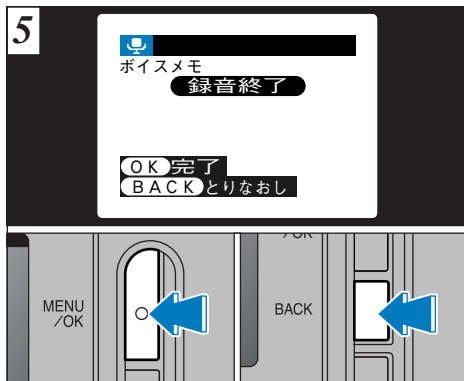
🎤 ボイスメモ録音

❶電源レバーを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でボイスメモを付けたい画像（静止画）を選びます。

❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“🎤”ボイスメモを選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

❗本機以外で撮影された画像（静止画）でも、本機で再生できる場合はボイスメモを付けられます。
❗動画にはボイスメモを付けられません。

画面に“録音スタンバイ”と表示されます。
“MENU/OK” ボタンを押すと録音が開始されます。

マイクに向かって録音してください。約20cm離れるとうまく録音できます。

録音中は画面に残り時間が表示され、セルフタイマーランプが点滅します。
残り時間が5秒になると、セルフタイマーランプが早く点滅します。

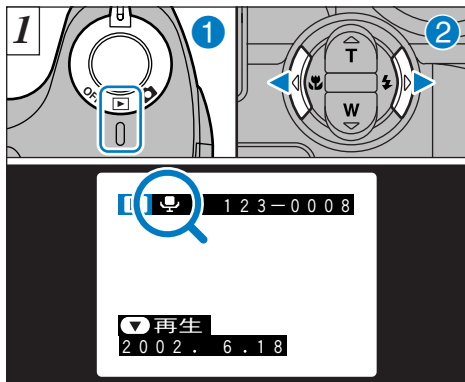
4

❗途中で完了する場合は “MENU/OK” ボタンを押してください。

ボイスメモ録音

30秒間録音すると、画面に“録音終了”と表示されます。

完了する場合：“MENU/OK”ボタンを押します。
録りなおしする場合：“BACK”ボタンを押します。

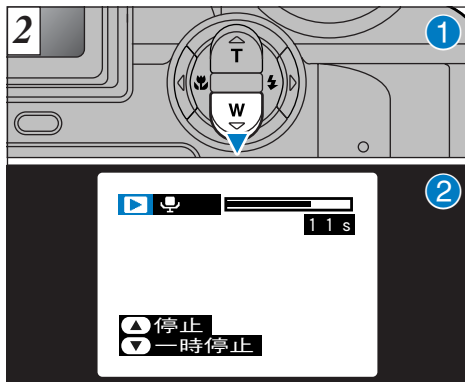
◆すでにボイスメモがあるときは◆

ボイスメモ付きの画像を選んだときは、再録音するかどうか選択画面が表示されます。

ボイスメモ再生

❶電源レバーを "▶" に合わせます。
❷"◀▶" でボイスメモ付き画像ファイルを選びます。

❶"▼" を押すと再生されます。
❷画面に再生時間とバーが表示されます。

❗マルチ再生ではボイスメモ再生できません。"DISP" ボタンで通常再生にしてください。

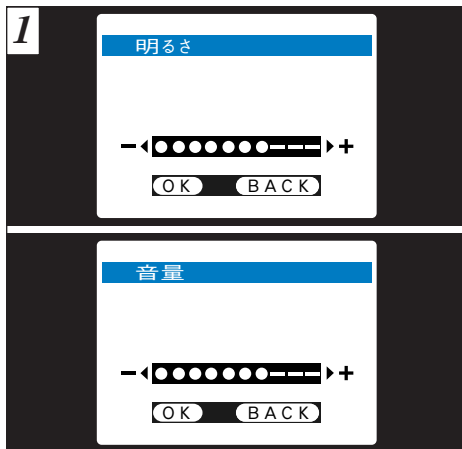
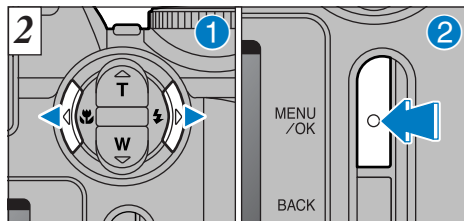
"🎤" のアイコンで表示されます。

❗スピーカーをふさがないでください。
❗音が聴き取りにくい場合は、音量調節をしてください(➡75ページ)。

ボイスメモ再生

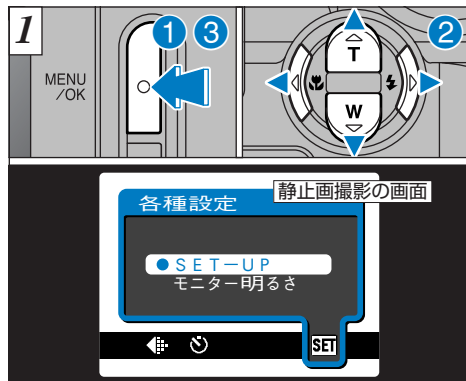
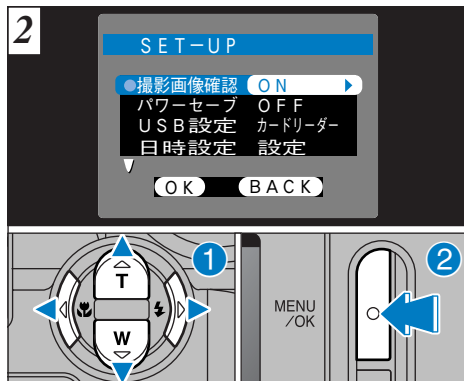
■ボイスメモ再生操作方法

	操 作	説 明
再生	▼	再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し	◀▶	再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。 ※一時停止中は操作できません。

＊パソコンでの再生については別冊：ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

SET モニター明るさ/音量

"モニター明るさ" または "音量" のメニューを実行すると、画面に "調節バー" が表示されます。

❶ "◀▶" で画面の明るさ/スピーカーの音量を調節します。
❷ "MENU/OK" ボタンを押して決定します。

❗ 設定を変更しない場合は "BACK" ボタンを押してください。

SET SET－UPの操作

❶“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶” で “SET” 各種設定を選び、“▲▼” で“SET－UP” を選びます。
❸“MENU/OK” ボタンを押します。

❶“▲▼” で項目を選び、“◀▶” で設定を変更します。
❷“MENU/OK” ボタンを押します。

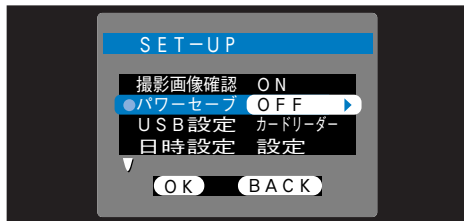
! “日時設定”“オールリセット” は “▶” を押します。

■各種設定一覧

静止画モード	動画モード	再生モード
— モニター明るさ（➡75ページ） SET－UP	— モニター明るさ（➡75ページ） SET－UP	音量（➡75ページ） モニター明るさ（➡75ページ） SET－UP

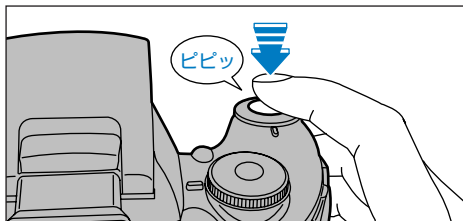
■SET－UPメニュー一覧

項　目	表　示	工場出荷時	内　　容
撮影画像確認	ON/OFF	ON	撮影後に画像確認画面（撮影結果）を表示するかどうか設定できます。 撮影結果が約2秒間表示され、自動的に記録されます。 連写では、“OFF”に設定しても一定時間表示され、自動的に記録されます。
パワーセーブ	ON/OFF	OFF	約30秒間操作しないと、一時的に液晶モニターを消す機能です。詳しくは78ページ参照。
USB設定	カードリーダー/PCカメラ	カードリーダー	詳しくは79ページ参照。
日時設定	設定	－	日付、時刻を修正できます。詳しくは17ページ参照。
操作音	LOW/HIGH/OFF	LOW	操作したときの音量を設定できます。
オールリセット	実行	－	日時設定を除く、すべての設定（撮影、再生メニュー含む）を工場出荷設定にリセットします。“▶”を押すと確認画面が表示されるので、実行するには“MENU/OK”ボタンを押します。

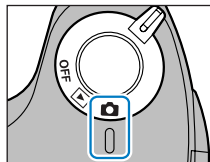
5

パワーセーブ

●パワーセーブ “OFF” (工場出荷設定)
スリープなどの電力を抑えることを行いません。ただし、約2分間操作しないと自動的に電源が切れます (オートパワーオフ)。

●パワーセーブ “ON”
できるだけ消費電力を少なくし、電池の消耗を抑えます。

- 約30秒間操作しないと一時的に画面を消し、消費電力を抑えます (スリープ)。
  (インジケーターランプ [緑] は点灯)
- スリープ後、約90秒間操作しないと自動的に電源が切れます (オートパワーオフ)。
  (インジケーターランプ [緑] は消灯)
- ストロボの充電電力を抑えるため充電時間が多少長くなります。

スリープしているときにシャッターボタンを半押しすると、撮影可能状態に復帰します。電源をON/OFFするよりも、素早く撮影可能になるので便利です。全押しすると撮影することもできます。

! シャッターボタン以外のボタンでも復帰できます。

◆再度電源を入れるには◆

いったん電源レバーを “OFF” に合わせてから “📷” に戻します。

接続編では

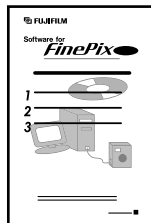
接続編では、カメラとパソコンをUSB専用ケーブルで接続して使用できる機能の説明と、接続方法を紹介します。あわせて別冊のソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。ACパワーアダプター（別売）を使った接続をおすすめします。

カメラをパソコンに初めて接続する際は

接続する前に、ソフトウェアをすべてインストールしておく必要があります。
あわせてソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

CD-ROM
「Software for FinePix」

ソフトウェア取扱ガイド

カードリーダー機能について

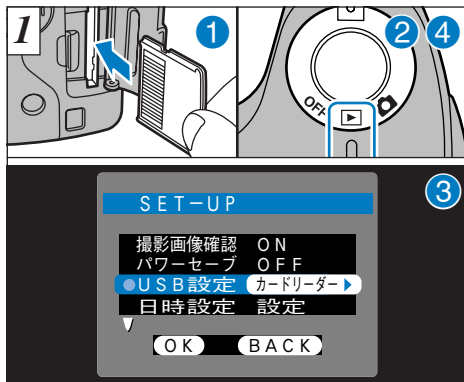
xDピクチャーカードから簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USB接続により、高速にファイル転送が行えます（➡80ページ）。

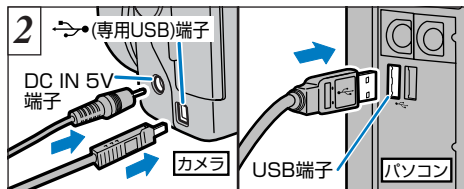
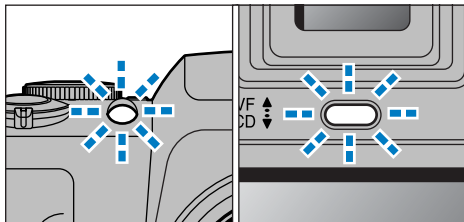
PCカメラ機能について

インターネット接続されたパソコン同士でテレビ電話（“PictureHello”）が楽しめます（➡82ページ）。

テレビ電話（“PictureHello”）はMacintoshに対応していません。

6

カードリーダー接続方法

①撮影したxDピクチャーカードをカメラにセットします。
②電源レバーをスライドさせ、"▶"に合わせます。
③SET−UPの "USB設定" を "カードリーダー" にします(➡76、77ページ)。
④電源レバーをスライドさせ、電源を切ります。

ACパワーアダプター(別売)を使った接続をおすすめします(➡86ページ)。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。

①パソコンの電源を入れます。
②専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
③カメラの電源を入れます。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください(➡84ページ)。

Windows XPおよびMac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です(➡別冊のソフトウェア取扱ガイド)。

専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、インジケーターランプが緑/橙に交互点滅します。
- 画面には“カードリーダー”と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブしません。

パソコンの動作

- FinePixViewerが自動的に起動します。

＊Windows 98 SEの画面です。

- リムーバブルアイコンが表示され、パソコンでファイルの読み出し、書き込みができます。

Windows

リムーバブル ディスク

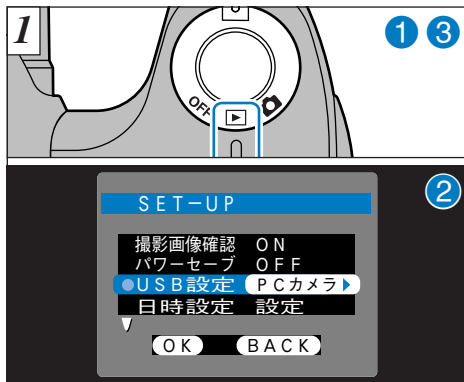
Macintosh

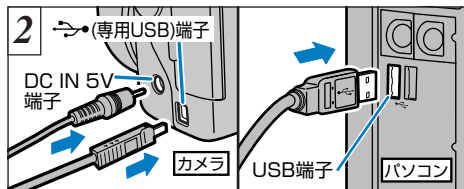
名称未設定

xDピクチャーカードの交換は、必ず84ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。

通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては84ページをご参照ください。

上記の動作が確認できない場合、必要なソフトウェアがうまくインストールできていません。別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照して、パソコンでの準備を完了してから、もう一度接続してください。

PCカメラ接続方法

①電源レバーをスライドさせ、"▶"に合わせます。
②SET−UPの "USB設定" を "PCカメラ" にします(➡76、77ページ)。
③電源レバーをスライドさせ、電源を切ります。

ACパワーアダプター(別売)を使った接続をおすすめします(➡86ページ)。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。

①パソコンの電源を入れます。
②専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
③カメラの電源を入れます。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください(➡84ページ)。

専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、インジケーターランプが緑/橙に交互点滅します。
- レンズが広角側に固定されます。
- 画面には“PCカメラ”と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブしません。

通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては、84ページをご参照ください。

PCカメラで使用する場合、蛍光灯スタンドなどで被写体を照明するとより明るく撮影することができます。

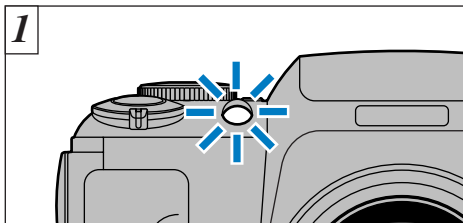
PCカメラとしてパソコンに接続したとき、一時的に画面の色味が変わります。

パソコンの動作

- FinePixViewerが自動的に起動し、Picture Helloが開きます（Windowsのみ）。

＊Windows 98 SEの画面です。

上記の動作が確認できない場合、必要なソフトウェアがうまくインストールできていません。別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照して、パソコンでの準備を完了してから、もう一度接続してください。

パソコンと接続を切るには（必ず行ってください）

❶カメラを利用しているアプリケーション（FinePixViewerなど）をすべて終了します。
❷インジケーターランプが緑色に点灯、またはセルフタイマーランプが消灯している（パソコンと通信していない）ことを確認します。

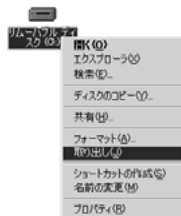
カードリーダー接続の場合は、2に進みます。
PCカメラ接続の場合は、3に進みます。

2 カメラの電源を切る前の作業を行います。この手順は、ご使用のOS（パソコン）によって違います。

Windows 98/98 SE

パソコンでの操作は必要ありません。

Windows Me/2000 Professional/XP

❶マイコンピュータの中の“リムーバブルディスク”アイコンを右クリックし、取り出しをクリックします。この操作はWindows Meのみ必要です。

❷タスクバー上の取り外しアイコンを左クリックします。

＊Windows Meの画面です。

パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのインジケーターランプが緑色に点灯、またはセルフタイマーランプが消灯していることを確認してください。

❸下図のメニューが表示されますので、メニュー上をクリックします。

USB ディスク - ドライブ (G:) の停止

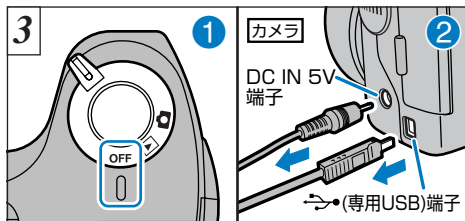
＊Windows Meの画面です。

❹“ハードウェアの取り外し”ダイアログが表示されますので、“OK”ボタンかクローズボタンをクリックしてください。

Macintosh

デスクトップの“リムーバブルドライブ”アイコンを、ゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

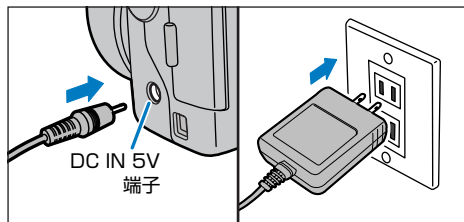
ゴミ箱

ゴミ箱にドラッグ&ドロップすると、カメラの画面に“ REMOVE OK ”と表示されます。

❶カメラの電源を切ります。
❷カメラから専用USBケーブルを取り外します。

6

別売のACパワーアダプターを使う

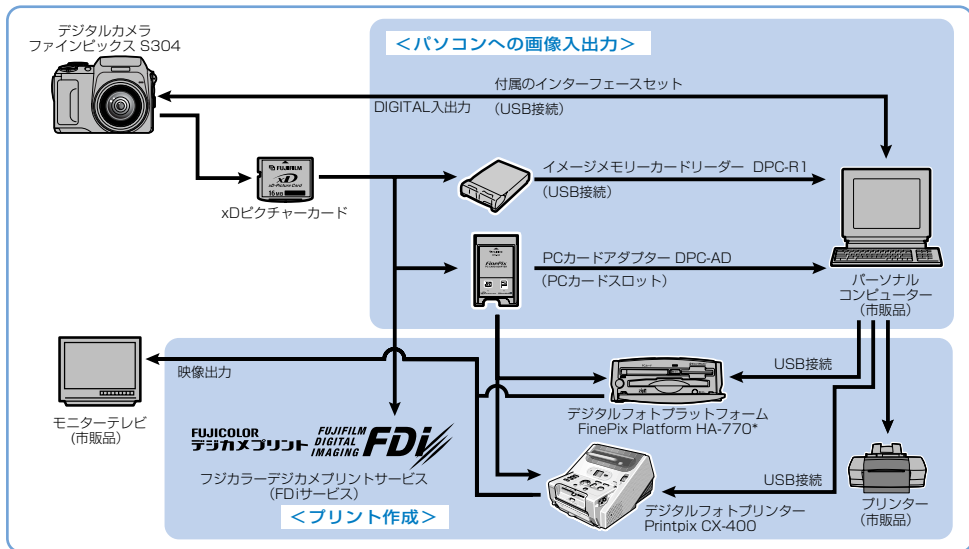
ファイル転送中（USB接続）など、電源が切れては困るときに使用します。また、電池の消耗を気にせず撮影・再生することができます。

●使用可能なACパワーアダプター
AC-5VH（推奨）、
弊社製互換品：AC-5VS、AC-5VN、AC-5V

カメラの電源が切れていることを確認します。ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 5V”端子に差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

- 必ず上記の弊社製品をご使用ください。
- ACパワーアダプターについてのご注意は92ページをご参照ください。
- ACパワーアダプターの接続および取り外しは、カメラの電源が切れているときに行ってください。
  カメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の画像、動画は記録されません。また、xDピクチャーカードの破損やパソコン接続時誤動作の原因になります。

ACパワーアダプターを接続しても、ニッケル水素電池の充電はできません。ニッケル水素電池の充電には別売の充電器（➡88ページ）が必要です。

システムアップ機器（別売）（平成14年9月現在）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

＊ HA-770ではFinePix S304の画像データに対してプリント予約することはできません。
＊ デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様に、プリント取り扱い店でプリントできます。

その他 別売アクセサリーの紹介（平成14年9月現在）

▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

※最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。　http://www.fujifilm.co.jp/
※価格はメーカー希望小売価格、消費税別です。

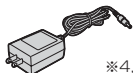
●イメージメモリーカード（xDピクチャーカード™）

以下の種類がお使いいただけます。

- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）
- DPC-256（256MB）

※すべてオープン価格

●ACパワーアダプター AC-5VH

長時間の撮影・再生時、パソコンとの接続時にお使いください。
（AC100〜240V、50/60Hz対応）

※4,000円

●単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」（HR-AA）

高容量の単3形ニッケル水素電池です。
4本パック「型名 HR-AA/4B」をお買い求めください。

※4本セット HR-AA/4B　1,980円

●ニッケル水素/ニカド急速充電器80（FNH）

ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」2本を約90分間で充電できます。
同時に4本までのニッケル水素/ニカド電池の充電が可能です（日本国内使用専用）。

※4,500円

●ニッケル水素/ニカド急速充電器ワールドタイプスリム（FNW）

ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」2本を約115分で充電できます。
同時に4本までのニッケル水素/ニカド電池の充電が可能です（AC100V〜240V、50/60Hz対応）。

※4,500円

●ソフトケース SC-FX304

ポリエステル製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

※3,000円

●イメージメモリーカードリーダー DPC-R1

イメージメモリーカード（xDピクチャーカード、スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なファイル転送を行います。

- Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- iMac、iBookおよびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh（Mac OS 8.6〜9.2/X（10.1.2〜10.1.3））

※オープン価格

●PCカードアダプター DPC-AD

xDピクチャーカードあるいはスマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。2種類のメディアのうちどちらか一方を使用できます。

- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- MacOS8.6〜9.2/X（10.1.2〜10.1.5）

※オープン価格

●デジタルフォトプラットフォームHA-770

スマートメディア、PCカード、Zip 3スロット装備し、デジタルカメラ画像のアルバム編集、再生機能搭載。パソコン*、テレビ、プリンターに対応したマルチインターフェース。

＊パソコン接続はUSBインターフェース（対応OS：Windows 98（Second Editionを含む）/Windows Me/Windows 2000 Professional、Mac OS 8.5.1〜9.1）

＊xDピクチャーカードで使用する場合はPCカードアダプターDPC-ADが必要です。

※49,800円

パソコンで動画再生をするには、QuickTime3.0以降のソフトウェアまたはDirectX8.0ランタイム(Windowsの場合)が必要です。また、動画ファイルをハードディスクにコピーしてから再生してください。

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水・浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺・水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、xDピクチャーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはxDピクチャーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池、xDピクチャーカードを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池や単3形ニッケル水素電池を使用してください。単3形マンガン乾電池や単3形リチウム電池は、使用できません。
- アルカリ乾電池は銘柄により電池寿命（使用時間）の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命がかなり短い場合があります。

電池についてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、4本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

⚠ 万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

⚠ 電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

■電池の破棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池（ニッケル水素電池）についてのご注意

- 単3形ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。

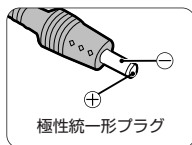
電源についてのご注意

- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ニッケル水素電池は、出荷時には充電されていません。ご使用の前に必ず充電してください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自己放電しています。ご使用の前に必ず充電してください。また、正常に充電したにもかかわらず、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。新しいものをお買い求めください。
- ニッケル水素電池の電極に、皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。この場合は、電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃後、一度使い切ってから充電してください。
- お買上げ時や長い間使用していなかった電池は、十分に充電されないこと（電池残量警告がすぐに表示されて、撮影可能枚数が少ない場合）があります。これは電池の特性によるもので故障ではありません。充電して使用することを3～4回繰り返すと正常な状態に戻ります。
- ニッケル水素電池の容量が残っている状態で充電を繰り返すと、「メモリー効果*」が発生して早めに電池残量警告が出ることがあります。最後まで使いきってから充電することで正常な状態に戻ります。

*メモリー効果：電池の容量が見かけ上劣化したような特性を示す現象

■小形充電式電池のリサイクルについて

このマークは小形充電式電池（ニッケル水素電池など）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。
このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

本機には、必ず専用のACパワーアダプターAC-5VS/AC-5VH/AC-5VN/AC-5V（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。
弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因となることがあります。

- 室内専用です。
- カメラのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- カメラのDC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- 本機は、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中､本機が熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

xDピクチャーカードについてのご注意

■xDピクチャーカードについて

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体xD-Picture Card（xDピクチャーカード）です。xDピクチャーカードの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。
xDピクチャーカード 個々にはID（番号）が割り振られています。IDを利用した著作権保護、その他の仕組みを持つ機器で使用できます。

■ファイル保持について

以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がxDピクチャーカードの使いかたを誤ったとき
＊カメラやパソコンなどからxDピクチャーカードへアクセス中（データ通信中など）にカードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
＊その他、誤った使いかたをしたとき

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意

- xDピクチャーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。
  乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
  万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。。
- xDピクチャーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- xDピクチャーカードの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にxDピクチャーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。xDピクチャーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のxDピクチャーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- xDピクチャーカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。

xDピクチャーカードについてのご注意

- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- xDピクチャーカードの接触面（コンタクトエリア）がゴミや皮脂などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
- 保管や持ち運びする場合は専用のケースに入れることをおすすめします。
- 静電気を帯びたxDピクチャーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したxDピクチャーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- xDピクチャーカードには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
- xDピクチャーカードにはラベル類は一切はらないでください。xDピクチャーカードの出し入れの際、故障の原因になります。
- 万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいxDピクチャーカードとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■xDピクチャーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのxDピクチャーカードを使って撮影する場合、xDピクチャーカードのフォーマットはカメラで行ってください。
- xDピクチャーカードをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでxDピクチャーカードのフォルダ名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。xDピクチャーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- xDピクチャーカード上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。
- カメラで使用するファイル以外のコピーはしないでください。

主な仕様

形　　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード xD-Picture Card（xDピクチャーカード）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	25mm×20mm×2.2mm（幅/高さ/厚み）

▶画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
（赤点灯） （赤点滅）	カメラの電池の容量が減っている、または少ない。	新しい電池を準備するか、交換してください。
!	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚を使用してください。
!AE	AE連動範囲外。	適正露出ではありませんが、撮影できます。
!AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	● 暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 ● AFロック撮影をしてください。
カードがありません	xDピクチャーカードが入っていない。	xDピクチャーカードをセットしてください。
フォーマットされていません	● xDピクチャーカードがフォーマット（初期化）されていない。 ● xDピクチャーカードの接触面（金色の部分）が汚れている。 ● カメラが故障している。	● xDピクチャーカードをフォーマットしてください。 ● xDピクチャーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はxDピクチャーカードを交換してください。 ● 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

警告表示

警告表示	警告内容	処置
カードエラー	●xDピクチャーカードの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●xDピクチャーカードが壊れている。 ●xDピクチャーカードのフォーマットが異常。 ●カメラが故障している。	●xDピクチャーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも表示される場合はxDピクチャーカードを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
空き容量がありません	xDピクチャーカードに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるxDピクチャーカードを使用してください。
再生できません	●正常に記録されていないファイルを再生しようとした。 ●xDピクチャーカードの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●カメラが故障している。 ●本機以外で記録した動画を再生しようとした。	●再生することはできません。 ●xDピクチャーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも表示される場合はxDピクチャーカードを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●再生することはできません。
コマＮＯ．の上限です	コマNo.が999―9999に達している。	フォーマットしたxDピクチャーカードに撮影してください。

警告表示	警告内容	処　置
記録できませんでした	●xDピクチャーカードと本体の接触異常またはxDピクチャーカードの異常のため記録できない。 ●撮影した画像がxDピクチャーカードの空き容量を超えて記録できない。	●xDピクチャーカードを入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●新しいxDピクチャーカードを使用してください。
ボイス再生できません	●ボイスメモファイルが異常。 ●カメラが故障している。	●ボイスメモを再生することはできません。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	プロテクトされているファイルを消去しようとした。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一xDピクチャーカード内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。別のxDピクチャーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
フォーカスエラー ズームエラー	カメラが誤作動または故障している。	●レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ●電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。 ●電池が逆に入っている。	●電池を交換してください。 ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●電池を正しい方向に入れてください。
電源が途中で切れる。	電池が消耗している。	電池を交換してください。。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●電池の寿命。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●電池を交換してください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●xDピクチャーカードが入っていない。 ●xDピクチャーカードに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●xDピクチャーカードがフォーマットされていない。 ●xDピクチャーカードの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●xDピクチャーカードが壊れている。 ●パワーセーブになり、電源が切れた。 ●電池が消耗している。	●xDピクチャーカードを入れてください。 ●新しいxDピクチャーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。 ●フォーマットしてください。 ●xDピクチャーカードの接触面を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しいxDピクチャーカードを入れてください。 ●電源を入れてください。 ●電池を交換してください。
ストロボ撮影できない。	●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 ●電池が消耗している。 ●ストロボが閉じている。	●充電が完了してからシャッターボタンを押してください。 ●電池を交換してください。 ●ストロボをポップアップしてください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
ストロボを発光禁止以外に設定できない。	連写が設定されている。	連写をOFFに設定してください。
ストロボが発光したのに撮影した画像が暗い。	● 被写体が遠い。 ● ストロボ/ストロボ調光センサーに指が掛かっている。	● ストロボ撮影可能距離内で撮影してください。 ● カメラを正しく構えてください。
ストロボ撮影したら、再生画面が白っぽい。	ストロボ調光センサーが、ほこりで遮られている。	細い綿棒などで、ほこりを取り除いてください。
画像がぼやけている。	● レンズが汚れている。 ● マクロを設定したまま、遠景を撮影した。 ● マクロを設定しないで、近距離を撮影した。 ● オートフォーカスの苦手な被写体を撮影した。	● レンズを清掃してください。 ● マクロを解除してください。 ● マクロを設定してください。 ● AF/AEロック撮影をしてください。
画像に点状のノイズがある。	気温が高い環境でスローシャッター(長時間露光)撮影した。	CCDの特性によるもので故障ではありません。
カメラから音が出ない。	● カメラの音量設定が小さくなっている。 ● 撮影/録音中にマイクをふさいでいる。 ● 再生中にスピーカーをふさいでいる。	● 音量を調節してください。 ● 撮影/録音時はマイクをふさがないでください。 ● スピーカーをふさがないでください。

困ったときは

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
カメラのモードダイヤルを操作しても作動しない。	● カメラの誤作動。 ● 電池が消耗している。	● 電池・ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。 ● 新しい電池と交換してください。
1コマ消去でコマが消せない。 全コマの消去で、すべてのコマが消せない。	● プリント予約されている。 ● コマがプロテクトされている。	● プリント予約を“なし”に設定してください。 ● プロテクトを解除してください。
PC(パソコン)接続で、カメラの画面に撮影画面が表示される。	● PCまたはカメラに専用USBケーブルが正しく接続されていない。 ● PCの電源が入っていない。	● 正しく接続してください。 ● PCの電源を入れてください。
カメラが正常に動作しなくなった。	● カメラが予期しない状態になっている。	● 電池をいったん取り出して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰出来ないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

主な仕様

システム

●型式
デジタルカメラ
●記録メディア
xDピクチャーカード
●記録方式
静止画：DCF準拠（Exif Ver.2.2 JPEG準拠）/DPOF対応
動　画：DCF準拠（AVI形式 Motion JPEG）
●記録画素数
2048×1536ピクセル/1600×1200ピクセル/
1280×960ピクセル/640×480ピクセル
●撮像素子
1/2.7型正方画素原色インターライン方式CCD
総画素数：約334万　有効画素数：約324万
●撮像感度
ISO100相当
●レンズ
フジノン光学式6倍ズームレンズ
●焦点距離
f=6mm～36mm
（35mmカメラ換算 38mm～228mm相当）
●ファインダー
0.33型11万画素液晶ファインダー（視野率：約90%）
●露出制御
TTL64分割測光、プログラムAE（マニュアル撮影時：露出補正可能）
●ホワイトバランス
オート（マニュアル撮影時：7ポジション選択可能）
●撮影可能範囲
標準　：約80cm～無限遠
マクロ：約10cm～約80cm
●シャッター速度
可変速　3秒～1/1500秒（メカニカルシャッター併用）

●xDピクチャーカード標準撮影枚数/記録時間
撮影枚数/記録時間は被写体により多少の増減があります。また、撮影枚数/記録時間はxDピクチャーカードの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	3M・F	3M・N	2M	1M	0.3M	動画 320	動画 160
記録画素数	2048×1536（約315万）		1600×1200（約192万）	1280×960（約123万）	640×480（約31万）	320×240	160×120
画像1枚のファイルサイズ	約1300KB	約590KB	約390KB	約320KB	約130KB	—	—
DPC-16（16MB）	12	26	39	49	122	94秒（1.5分）	300秒（5分）
DPC-32（32MB）	25	53	79	99	247	191秒（3.1分）	606秒（10.1分）
DPC-64（64MB）	50	107	159	198	497	384秒（6.4分）	1212秒（20.2分）
DPC-128（128MB）	102	215	319	398	997	774秒（12.9分）	2436秒（40.6分）

●**絞り**
F2.8～F3.0/F4.8～F5.2/F8.2～F8.7 自動切り換え
●**セルフタイマー**
タイマー時間　約10秒
●**消去方式**
1コマ消去・全コマ消去・フォーマット（初期化）
●**液晶モニター**
1.8型 6.2万画素 アモルファスシリコンTFT
●**ストロボ**
調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離：広角：約0.3m～約3.5m
望遠：約0.8m～約3.5m
発光モード　：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/
スローシンクロ/赤目軽減＋スローシンクロ
（ポップアップ収納時：発光禁止）

入・出力端子

● （専用USB）端子
パソコンへのデータの転送
●**DC IN 5V端子**
専用ACパワーアダプター AC-5V接続

電源部、その他

●**電源**
単3形アルカリ乾電池4本使用
単3形ニッケル水素電池4本使用（別売）
専用ACパワーアダプターAC-5V使用（別売）

●**電池撮影可能枚数**（充電式電池はフル充電した場合）

電池の種類	液晶モニター使用時	液晶ファインダー使用時
アルカリ乾電池 LR6	約300枚	約320枚
ニッケル水素電池 HR-AA「ニッケル水素1700」	約320枚	約350枚

常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる枚数の目安です。ただし、カメラの使用環境温度や電池充電量のバラツキによる変動はあります。低温時では撮影可能枚数が少なくなります。
●**使用条件**
温度0℃～＋40℃　湿度80%以下（結露しないこと）
●**本体外形寸法**
99.7mm×77.3mm×69.3mm（幅/高さ/奥行き）
（突起部含まず）
●**本体質量**
約295g（電池、xDピクチャーカード含まず）
●**撮影時質量**
約437g（電池、xDピクチャーカード、レンズキャップ、アダプターリング、ストラップ含む）
●**付属品**
5ページをご参照ください。
●**別売アクセサリー**
88、89ページをご参照ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊レンズの特性により、撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

用語の解説

EV
：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式
：Exif（イグジフ）は、JEITA（電子情報技術産業協会）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。

JPEG（ジェイペグ）
：Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）
：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマット AVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows：MediaPlayer　＊DirectX8.0以降必要
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

ホワイトバランス
：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。
ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

WAVE（ウェイブ）
：音声を保存するためのWindowsにおける標準フォーマットです。
拡張子は“.WAV”で、データ自体はPCM記録したものと、圧縮記録したものがあります。本機ではPCM記録を採用しています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows：MediaPlayer
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。この期間は保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。
使いかたの問題か、故障か迷うときは、弊社DIサポートセンターへお問い合わせください。

■故障と思われるときは

下記の中からお客様のご都合によりお選びください。
①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただく
②弊社サービスステーションにお持ちいただく（持込修理）
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただく（送付修理）
④お買上げ店にお持ちいただく
なお、集配ルートの都合上、④の方法よりは、①もしくは②、③の方法が、お預かりの期間は短くなります。
上記①の場合のサービス料金、②④の場合の交通費、③の場合の送料などの諸費用はお客様にてご負担願います。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。
- 修理品の持込修理/送付修理を弊社サービスステーションに依頼される場合には、次ページ「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金のお見積もりをご希望の場合は、「修理依頼票」の「お見積もり」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。なお、お見積もりは有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合は、修理をお断りする場合があります。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■交換した部品について

交換した部品は、今後の品質向上に役立てるため、弊社にて引き取らせていただいております。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

■修理料金の支払い方法について

①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただいた場合
　修理完了品は、代金引換となりますので、サービス料金とともに、運送業者に直接現金でお支払いください。
②弊社サービスステーションにお持ちいただいた場合（持込修理）
　修理完了品お引き取り時、窓口でお支払いください。
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただいた場合（送付修理）
　修理完了品は、代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
④お買上げ店にお持ちいただいた場合
　お持ちいただいたお店にご確認ください。

FinePix S304 修理依頼票

※弊社サービスステーションに故障品の送付あるいはお持込みの際には、お手数をおかけして申し訳ありませんが、迅速・適切な修理をするために必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
※下表の□は、該当する項目にチェック（✓）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		ファクス番号	
ご住所	〒　　—		
ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある8けたの番号です。修理お問い合わせ時にご連絡ください。	No.		

修理品への添付

□ 保証書　□ xDピクチャーカード（　　MB）　□ 電池
□（　　）　□（　　）
□（　　）　□（　　）

故障内容（故障時の様子や発生頻度、症状など具体的にご記入ください。）

お見積もり	□必要（修理金額　　円以上見積もり）　□不要
お見積もり連絡方法	□電話　□ファクス

※本紙はコピーしてお使いください。200%に拡大すると、約A4サイズになります。

■修理の受付は…

修理品の「FinePixクイックリペアサービス」・「送付修理」・「持込修理」の申し込み方法、受付場所を記載します。
下記に記載する修理サービスにおける修理品お預かり期間は、お買上げ店へお持ちいただく場合よりも、はるかに短くなります。

●【FinePixクイックリペアサービス】：お預かりからお届けまでが最短 3 日の修理サービスです。

・「お預かり」-「梱包」-「修理」-「お届け」までをワンパックにしたサービスです。
・当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了後にご自宅までお届けします。
・全国一律のサービス料金（保証期間内外を問わずお客様にご負担いただきます。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です）。
・料金の支払いは、修理品お届け時に、当社指定宅配業者に直接現金でお支払いください。
・サービスの申し込みは、インターネット・電話・ファクスのいずれかの方法から選択してください。

✻インターネット：http://www.fujifilm.co.jp/qa.html　✻専用電話：03-3436-2224　✻専用ファクス：03-3431-3470

※本サービスの詳細は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/repair.html）をご覧ください。

●【送付修理】：サービスステーションに直接ご送付いただく場合

・下記の7カ所のサービスステーションで受け付けております。送付時には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
・東京もしくは大阪のサービスステーションにお送りいただいた場合のみ、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）で修理完了予定日を検索することができます。

東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

●【持込修理】：サービスステーションにお持ちいただく場合

・上記7カ所のサービスステーションで受け付けております。お持ちいただく際には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40
・サービスステーションは、土・日・祝日・年末年始は休業させていただきます。その他夏期など休業させていただく場合があります。
・有償修理の場合の修理料金は、修理品お引き取りの際、サービスステーション窓口でお支払いください。
・東京もしくは大阪のサービスステーションにお持ちいただいた場合のみ、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）で修理完了予定日を検索することができます。
・本書に地図の記載がないサービスステーションは、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）をご覧ください。
・東京、大阪のフォトサロンは、上記7カ所のサービスステーションに加えて、修理品の受渡し業務のみを行っております。ただし、修理は行っておりませんので、お急ぎのお客様は上記7カ所のサービスステーションにお持ちください。

東　京：富士フォトサロン	〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL（03）3571-9411
大　阪：富士フォトサロン	〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL（06）6346-0222

★東　京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分
TEL（03）3436-1315
【受付時間】
月～金　午前 9：00～午後5：40
土　　　午前10：00～12：00　午後1：00～4：00
✻土曜日は修理品の受渡し業務のみ行っております。

★大　阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分
TEL（06）6260-0915
【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40

★名古屋：富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分
TEL（052）202-1851
【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40

富士写真フイルム株式会社

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.fujifilm.co.jp/

●修理の受付は…

本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

FGS-204107-FG